

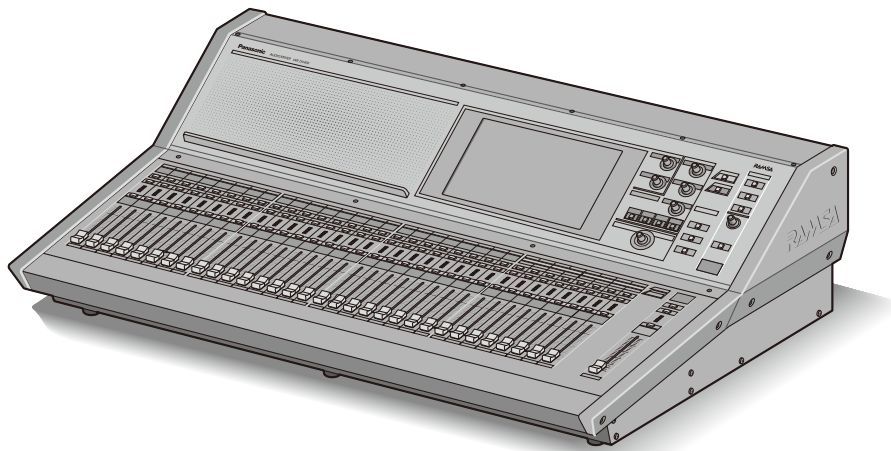
Panasonic[®]

取扱説明書 応用操作編

オーディオミキサー

品番： WR-DX400

RAMSA



はじめに

取扱説明書について

取扱説明書は、基本操作編と本書（応用操作編）、PC用リモートコントロールソフト（PDFファイル）の3部構成になっています。

WR-DX400の基本操作方法については基本操作編をお読みください。基本操作編のPDFファイルをCD-ROM内に収めています。ご活用ください。

本書では、詳細な機能の設定方法や設定内容の保存方法などデジタルミキサー特有の機能について説明しています。

PC用リモートコントロールソフトの操作方法については、付属のCD-ROM内に収められているPC用リモートコントロールソフト取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。（PC用リモートコントロールソフトのヘルプメニューから起動することができます。）

※ PDFファイルをお読みにするには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。

商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- DanteおよびAudinateはAudinate社の登録商標または商標です。
- iPad、iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

略称について

このドキュメントでは、以下の略称を使用しています。

- パーソナルコンピュータをPCと表記しています。
- 本機タッチパネルディスプレイに表示される映像を画面と表記しています。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに	2
取扱説明書について	2
商標および登録商標について	2
略称について	2
記号について	2
画面説明	4
共通画面	4
共通表示	5
シングルチャンネル画面	6
マルチチャンネル画面	13
操作対象チャンネルの選択	15
メーター／モニター画面	17
ユーティリティ画面	20
音を加工する	27
イコライザーの設定	27
ダイナミクス設定	28
ダイナミックノッチの設定	29
リバーブの設定	30
ディレイの設定	31
ディレイのチャンネル設定	31
PAN／BALの設定	32
その他の機能	33
カスタムレイヤーの活用	33
チャンネルコピーの活用	34
パターンメモリの活用	36
ライブラリーの活用	37
ミュートグループの活用	38
フェーダーグループの活用	39
データの初期化（データクリア）	39
ユーザーレベルの設定	40
モノラルとステレオの切替設定	41
モノラルとフェーダーリンクの切替設定	41
仕様	42
設定一覧	42
付録1 ユーティリティ設定 (System)	50
付録2 ユーティリティ設定 (IO)	57
付録3 ユーティリティ設定 (Audio)	59

画面説明

本機画面では、本体卓面で表示できない詳細情報の表示や、本体の操作部と連動した操作／設定ができます。画面は以下の4つがあり、本体ディスプレイコントロール部にある画面選択スイッチで切り替えることができます。

- シングルチャンネル画面：1チャンネル分のチャンネルデータ表示や設定ができます。
- マルチチャンネル画面：8チャンネル分のチャンネルデータ一覧表示や設定ができます。
- メーター／モニター画面：レベルメーターの一括表示、モニターのデータ表示や設定ができます。
- ユーティリティ画面：メモリーリード／ライト、ライブラリー管理、システム設定やオプション設定ができます。

ここでは、各画面の機能と各画面共通の機能について説明します。

共通画面



① チャンネル番号／画面名称表示

「シングルチャンネル」画面、「マルチチャンネル」画面で表示しているチャンネル種別とチャンネル番号を表示します。「メーター／モニター」画面、「ユーティリティ」画面では画面名称を表示します。画面およびチャンネル種別により、下表のように表示されます。

画面	チャンネル種別	表示内容	チャンネル番号
シングルチャンネル	INPUT	INPUT [Ch番号]	1~32
	REVERB RETURN	REV RTN [Ch番号]	1、2
	BUS	BUS [Ch番号]	1~14
	REVERB SEND	BUS 13/REV1、 BUS 14/REV2	—
	MAIN L・R	MAIN LR	—

シングルチャンネル	AIR MIC	AIR MIC L、 AIR MIC R	—
	ANNOUNCE MIC	ANNOUNCE	—
	TALK BACK/OSC	TB/OSC	—
	MATRIX	MATRIX [Ch番号]	1~16
マルチチャンネル	INPUT	INPUT [Ch範囲]	1~8、 9~16、 17~24、 25~32
	BUS	BUS [Ch範囲]	1~8、 9~14
	MATRIX	MATRIX [Ch範囲]	1~8、 9~16
メーター／モニター	—	METER MONITOR	—
ユーティリティ	—	UTILITY	—

画面説明

② レイヤーマーカー／チャンネルコピー操作部／メッセージ表示部

INPUTレイヤー／OUTPUTレイヤー／CUSTOMレイヤーマーカーを表示します。CUSTOMレイヤーの操作手順などの詳細は「カスタムレイヤーの活用」(33ページ)をお読みください。

チャンネルコピー操作部により、EQ/DYN/BUSのコピーペーストが可能です。操作手順などの詳細は「チャンネルコピーの活用」(34ページ)をお読みください。

本体が処理中であつたり、管理者以外のユーザー権限で動いていることをメッセージで表示します。メッセージ一覧は取扱説明書 基本操作編をお読みください。

メッセージがある場合、PLEASE WAIT/ALARM/OPERATOR(ENGINEER)のメッセージをレイヤーマーカーの上に、表示します。

③ パターン番号表示部 [PATTERN No.]

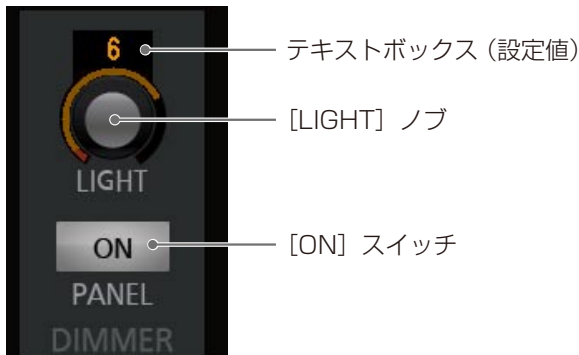
パターンメモリの番号を表示します。最後にリード／ライトされたパターン番号が表示されます。

パターンメモリの番号表示エリアをタッチすると「ユーティリティー」画面を表示します。

④ ディマー設定部 [DIMMER]

本体の外付けランプ、本体卓面のボタンや画面の輝度の設定を行います。

[LIGHT] ノブをタッチして、本体のパラメーターノブ [TOUCH/PARAMETER] を回して、外付けランプの輝度を調整します。設定値は [LIGHT] ノブ上部に表示されます。



PANEL [ON] スイッチで、外付けランプの輝度、本体のボタン輝度、画面の輝度を切り替えることができます。輝度の設定は「ユーティリティー」画面で設定することができます。

⑤ モニターレベルメーター [MONITOR]

モニターの音声信号レベルを表示します。

緑： $-\infty \sim +4$ dBu未満

橙： $+4$ dBu $\sim +21$ dBu未満

赤： $+21$ dBu $\sim +24$ dBu

[0] 表示は、定格レベル (+4 dBu) に相当します。

⑥ トークバックスイッチ [TALK BACK] (橙色)

トークバックのON/OFFを設定します。

TALK BACK [ON] スイッチをON (点灯) にすると、モニターのMUTEが「ON (点滅)」になります。

このとき本体の [MUTE] スイッチは無効になります。オシレーター出力状態ではONにできません。

共通表示

■ スイッチ

画面上のスイッチは以下を表します。

橙色 : ON (点灯)

灰色 : OFF

■ ノブ

画面上のノブは以下を表します。

名称	非選択時	選択時	備考
DYNAMICS	緑色	緑色 発光色	
EQUALIZER	青色	青色 発光色	本体のEQバンド選択スイッチで押されているEQバンドノブはすべて青色発光色
INPUT	赤色	赤色 発光色	
PAN/BAL	白色	白色 発光色	
LIGHT DIMMER	灰色	橙色	

画面上のノブは、タッチして選択し、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、設定値を調整します。ノブを回したときの調整量は橙色、起点は赤色、中心は白色で表示されます。

■ テキストボックス

テキスト表示部は、タッチして選択し、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、設定値を調整します。

画面説明

シングルチャンネル画面



画面下部はチャンネル種別により、下記設定部に切り替えることができます。

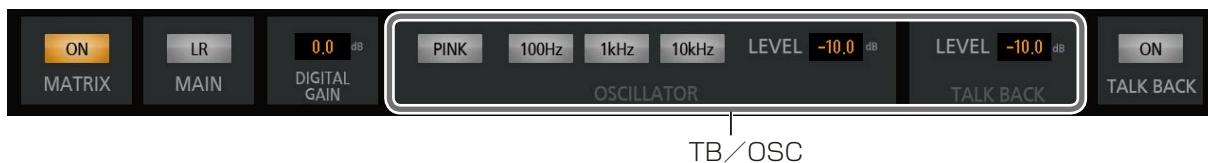
[ANNOUNCE MIC] スイッチを選択したとき



[AIR MIC] スイッチを選択したとき



[TALKBACK/OSC] スイッチを選択したとき



[REVERB] を選択したとき



画面説明

① バスセンド部/MATRIXミキシング部

入力チャンネル ([INPUT1~32]、[TALK BACK MIC]) からバスへのアサイン、MATRIXチャンネルのミキシング設定を行います。

また、表示しているチャンネルのフェーダーレベルを表示します。

② ダイナミクス設定部

ダイナミクスの設定を行います。(28ページ)

③ 入力パラメーター設定部

入力チャンネル ([INPUT1~32]、[TALK BACK MIC]、[ANNOUNCE MIC]、[AIR MIC]) の入力パラメーターなどの設定を行います。

④ イコライザー設定部

イコライザーの設定を行います。(27ページ)

⑤ ダイナミックノッチ設定部

入力チャンネル [INPUT1~24] のダイナミックノッチの設定を行います。(29ページ)

⑥ ディレイ設定部

ディレイの設定を行います。(31ページ)

⑦ チャンネル名称表示ラベル

チャンネル種別がINPUT, REVERB, RETURN, BUS, REVERB, SEND, MAIN L・R, MATRIX の場合に、チャンネルの名称の表示をします。チャンネルの名称はPC用リモートコントロールソフトから設定します。

b. バスセンド、PAN/BALレベル表示

センドレベル、PAN/BALレベルを表示します。バスがステレオ状態の場合、奇数チャンネルにセンドレベル、偶数チャンネルにPAN/BALレベルを表示します。モノラル入力では一つの音を分配するPAN (パンポット)、ステレオ入力では左右の入力に対して片方の入力を固定したままもう片方の入力を減衰させるBAL (バランス) となります。

レベルを変更する場合は、目的のチャンネルのバーグラフエリアの設定値をタッチして選択し、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、レベルを調整します。バーグラフエリアの表示は以下のとおりです。

範囲

ミキシングレベル表示時 : inf、-90.0~10.0

PAN/BALレベル表示時 : L16~C~R16

c. フェーダーレベル表示 [FADER]

フェーダーレベルを表示します。

レベルを変更する場合は、フェーダー表示エリアをタッチして選択し、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、レベルを調整します。

d. メインLRスイッチ [MAIN] [LR]

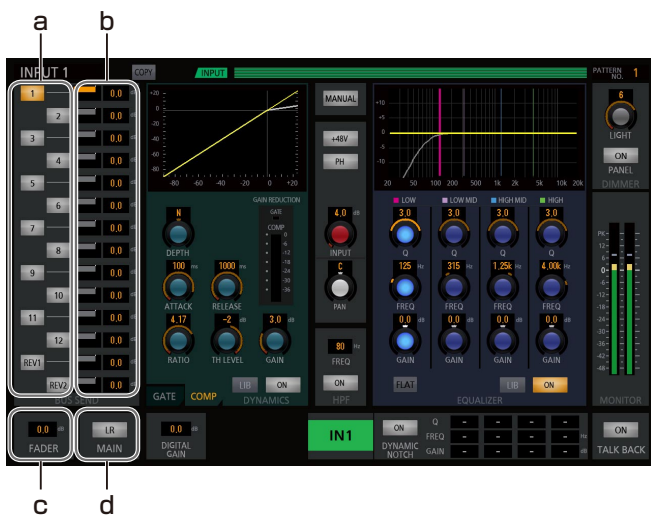
チャンネル種別が [INPUT] [BUS] の場合に表示されます。

メインLRへのアサインON (点灯) /OFFを、表示/設定します。

■ バスセンド部

バスセンド部は、入力チャンネルからバスへのアサイン時に表示します。

バスからメインへのアサイン設定を行うことができ、また表示しているチャンネルのセンドレベルを表示します。



a. バスセンドスイッチ [1] ~ [14] [REV1] [REV2]

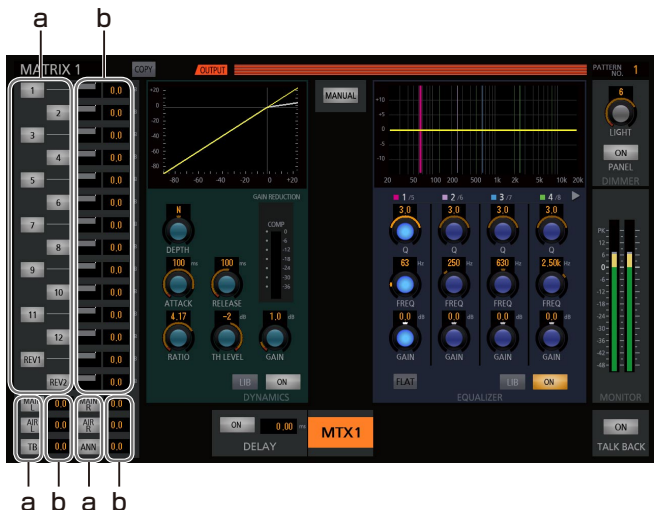
送り出し先の選択スイッチです。

スイッチをタッチするとON (点灯) になり、バスにアサインし、もう一度押しとOFFになり、バスアサインを解除します。

画面説明

MATRIXミキシング部

MATRIXミキシング部は、出力チャンネルにミキシングするバスを表示します。
また表示しているミキシングのレベルを表示します。

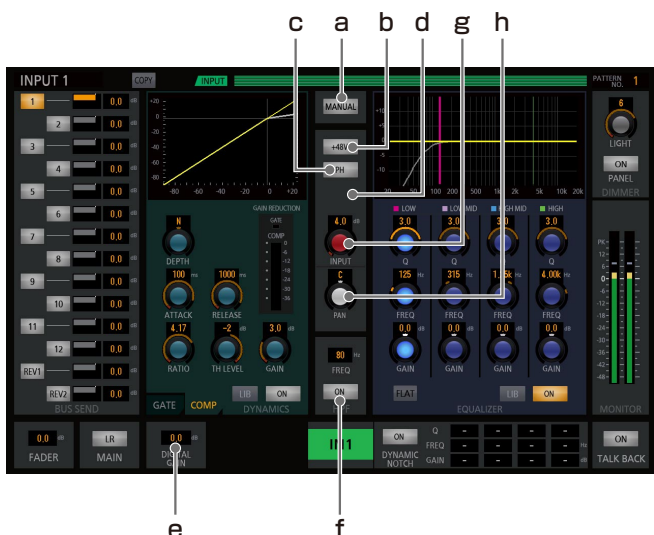


a. MATRIXミキシングスイッチ [1] ~ [14]
[MAIN L/R] [AIR L/R] [TB] [ANN]
MATRIXへのミキシング選択スイッチです。
スイッチをタッチするとON (点灯) になり、ミキシングします。もう一度押すとOFFになりミキシングを解除します。

b. MATRIXミキシングレベル表示
ミキシングレベルを変更する場合は、目的のチャンネルの設定値をタッチして選択し、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、ミキシングレベルを調整します。
調整範囲：inf、-90.0~10.0

入力パラメーター設定部

入力パラメーター設定部は、入力チャンネルの入力パラメーター等の設定を行います。



a. マニュアルスイッチ [MANUAL]
[MANUAL] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、該当チャンネルをパターンメモリーリード、ミュートグループ (INPUTのみ)、フェーダーグループ (INPUTのみ) の制御から外することができます。もう一度押すとOFFになります。

b. ファンタム電源スイッチ [+48V]
[+48V] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、ファンタム電源を有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。

c. PHASEスイッチ [PH]
[PH] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、選択されたチャンネルの位相が反転し、もう一度押すと元に戻ります。

d. インサージョンスイッチ [INS]
[INS] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、インサージョン機能を有効 (Danteカードからの入力に切り替える) にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。本スイッチは、スロットにDanteカードを挿して、インサージョンを使用しているときのみ表示します。

e. デジタルゲイン表示
[DIGITAL GAIN] の設定値エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、デジタルゲインを調整することができます。

f. HPF設定 [HPF] [ON]
HPF (ハイパスフィルター：高域の周波数を通し、低域の周波数をカットする) の [ON] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、HPFを有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。
また、HPFを変更する場合は、設定値エリアをタッチして選択し、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、HPF周波数を調整することができます。

g. トリムノブ [INPUT]
[INPUT] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、INPUT トリムレベルを調整することができます。
設定値は [INPUT] ノブ上部に表示されます。

h. PAN/BALレベルノブ [PAN] / [BAL]



メインLRへのPAN (パンポット：1つの音を分配する) /BAL (バランス：左右の入力に対して片方の入力を固定したままもう片方の入力を減衰させる) レベルを表示 / 設定します。
チャンネル種別によって機能が変わります。

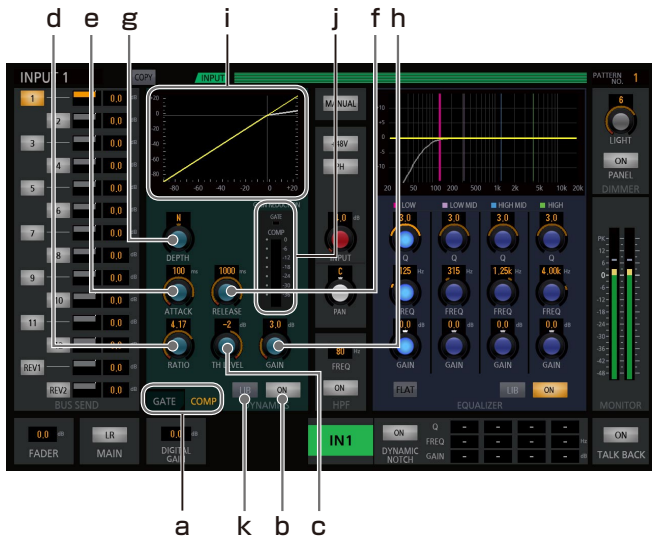
モノラルインプットの場合：PANレベルの設定
ステレオインプットの場合：BALレベルの設定
バスの場合：PANレベルの設定

画面説明

レベルを変更する場合は、[PAN] / [BAL] ノブにタッチして選択し、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、レベルを調整します。設定値は [PAN] / [BAL] ノブ上部に表示されます。

■ ダイナミクス設定部

ダイナミクス設定部は、各チャンネルのダイナミクスの設定を行います。
設定手順などの詳細は「ダイナミクスの設定」(28ページ)をお読みください。



a. ゲート/コンプレッサー選択タブ [GATE] [COMP]

[GATE] / [COMP] タブをタッチすると、設定するダイナミクスをノイズゲート、コンプレッサーから選択できます。

b. ダイナミクススイッチ [ON]

[ON] スイッチをタッチすると、ダイナミクスを有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。

c. スレッシュホールドレベルノブ [TH LEVEL]

[TH LEVEL] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、スレッシュホールドレベルを調整することができます。
設定値は [TH LEVEL] ノブ上部に表示されます。

d. レシオノブ [RATIO] (COMPのみ)

[RATIO] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、レシオを調整することができます。
設定値は [RATIO] ノブ上部に表示されます。

e. アタックタイムノブ [ATTACK]

[ATTACK] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、GATE、COMPのアタックタイムを調整することができます。
設定値は [ATTACK] ノブ上部に表示されます。

f. リリースタイムノブ [RELEASE]

[RELEASE] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、リリースタイムを調整することができます。
設定値は [RELEASE] ノブ上部に表示されます。

g. デプスノブ [DEPTH] (COMPのみ)

[DEPTH] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、COMPのデプスの設定値を調整することができます。
設定値は [DEPTH] ノブ上部に表示されます。

h. アウトプットゲインノブ [GAIN] (COMPのみ)

[GAIN] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、アウトプットゲインの設定値を調整することができます。
設定値は [GAIN] ノブ上部に表示されます。

i. ダイナミクスグラフ

GATE、COMPの設定に応じた入出力特性を表示します。

j. ゲインリダクションメーター [GAIN REDUCTION]

COMPのゲインリダクションレベルを表示します。
GATEは開/閉の状態を表示します。

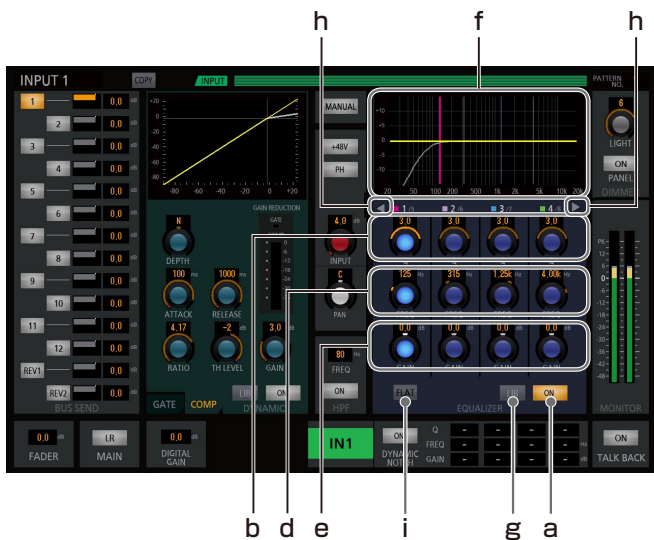
k. ダイナミクスライブラリスイッチ [LIB]

[LIB] スイッチをタッチすると、ダイナミクスライブラリータブが選択された状態で、「ユーティリティー」画面に表示が切り替わります。

画面説明

■ イコライザー設定部

イコライザー設定部は、各チャンネルのイコライザー (EQ) の設定を行います。設定手順などの詳細は「イコライザーの設定」(27ページ)をお読みください。



a. イコライザースイッチ [ON]

[ON] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、イコライザーを有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。

b. イコライザーバンド選択 [LOW] [LOW-MID] [HIGH-MID] [HIGH] [1~8]

[LOW] [LOW-MID] [HIGH-MID] [HIGH] [1~8] バンド下部の [Q] ノブ、[FREQ] ノブ、[GAIN] ノブをタッチするとイコライザーバンドが選択されます。その状態は本体EQバンド選択スイッチの状態にも連動します。

また、同じく、本体EQバンド選択スイッチで選択された状態は画面上のHPF・EQグラフ、[Q] ノブ、[FREQ] ノブ、[GAIN] ノブにも連動します。

c. イコライザーQノブ [Q]

[Q] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、Qを調整することができます。また本体の [Q] ノブでも調整できます。

設定値は [Q] ノブ上部に表示されます。

d. イコライザー周波数ノブ [FREQ]

[FREQ] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、周波数を調整することができます。また本体のEQ周波数ノブでも調整できます。

設定値は [FREQ] ノブ上部に表示されます。

e. イコライザーゲインノブ [GAIN]

[GAIN] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、ゲインを調整することができます。また本体のEQゲインノブでも調整できます。

設定値は [GAIN] ノブ上部に表示されます。

f. HPF・EQグラフ

HPF、EQの設定に応じた周波数特性を表示します。

g. イコライザーライブラリースイッチ [LIB]

[LIB] スイッチをタッチすると、イコライザーライブラリータブが選択された状態で、「ユーティリティ」画面に表示が切り替わります。

h. イコライザーバンド選択スイッチ [◀] [▶] (PEQ設定のMATRIXのみ)

[◀] を押すと1~4、[▶] を押すと5~8のイコライザーのバンドを選択できます。

i. フラットスイッチ [FLAT]

イコライザーのゲインレベルを一括して0 dBにすることができます。

[FLAT] のスイッチをタッチするとON (点灯) になり、確認の [OK?] スイッチが表示されます。[OK?] スイッチをタッチすると0 dBにできます。[FLAT] が点灯しているときに [FLAT] スイッチをタッチするとキャンセルできます。

j. GEQバンド選択 (MATRIX13~16チャンネルをGEQ設定にした場合のみ)

イコライザーのタイプを31バンドのGEQに設定した場合、HPF・EQグラフのGEQゲイン設定フェーダーで設定するバンドを選択します。



8周波数分のGEQゲイン設定フェーダーの任意のフェーダーをタッチすると、選択された周波数に青枠が表示され、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、ゲインを調整することができます。

設定値は各フェーダー下部に表示されます。

GEQグラフで青枠の部分が現在選択されている周波数の範囲です。グラフをタッチすると周波数の範囲を変更することができます。

画面説明

■ ダイナミックノッチ設定部

ダイナミックノッチ設定部は、各チャンネルのダイナミックノッチの設定を行います。設定手順などの詳細は「ダイナミックノッチの設定」(29ページ)をお読みください。



a. ダイナミックノッチスイッチ [ON]

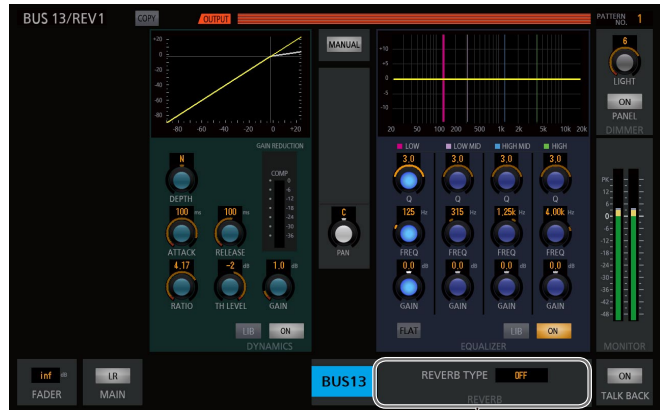
[ON] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、ダイナミックノッチを有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。ONに設定するとハウリング検出動作を開始し、4つのハウリングポイントを表示します。

b. ダイナミックノッチ設定表示 [Q] [FREQ] [GAIN]

ダイナミックノッチで検出したハウリングの抑制設定を表示します。

■ REVERB設定部

リバーブの設定を行います。チャンネル種別がBUSで、REVERB1が有効なときバス13ch、REVERB2が有効なときバス14chに表示します。設定手順などの詳細は「リバーブの設定」(30ページ)をお読みください。



a. リバーブタイプ表示 [REVERB TYPE]

設定値エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、REVERB TYPEを選択することができます。

■ デイレイ設定部



a. デイレイ設定 [DELAY] [ON]

デイレイの [ON] スイッチをタッチしON (点灯) にすると、デイレイ機能を有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。また、デイレイを変更する場合は、設定値エリアをタッチして選択し、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、デイレイを調整することができます。設定手順などの詳細は「デイレイの設定」(31ページ)をお読みください。

画面説明

■ TB/OSC (トークバック/オシレーター) 設定部

トークバック/オシレーターの設定を行います。



a. トークバックレベル [LEVEL]

トークバックレベルの設定値エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、トークバックレベルを調整することができます。

b. オシレーター周波数選択スイッチ [PINK] [100Hz] [1kHz] [10kHz]

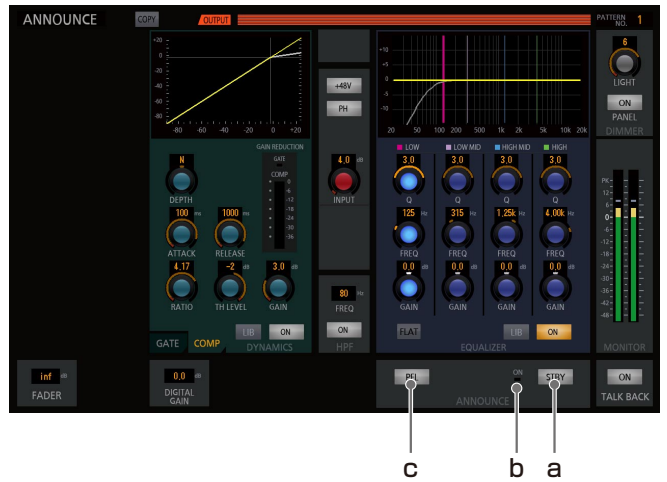
各スイッチをタッチするとON (点灯) になり、オシレーターの出力周波数設定を有効にできます。もう一度押しとOFFで無効にできます。トークバックが有効のときに、出力周波数を選択してもオシレーターは出力しません。

c. オシレーターレベル [LEVEL]

オシレーターレベルの設定値エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、オシレーターレベルを調整することができます。

■ ANNOUNCE設定部

アナウンスマイクの設定を行います。
チャンネル種別が「ANNOUNCE MIC」の場合に表示します。



a. スタンバイスイッチ [STBY]

[STBY] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、アナウンスマイクのSTBYを有効にできます。もう一度押しとOFFで無効にできます。

b. スタンバイタリ表示 [ON]

アナウンスマイクのスタンバイタリの状態を表示します。
赤色点灯中 : 有効

c. PFLスイッチ [PFL]

[PFL] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、アナウンスマイクのPFLモニターを有効にできます。もう一度押しとOFFで無効にできます。

■ AIR MIC設定部

エアマイクの設定を行います。
チャンネル種別が「AIR MIC」の場合に表示します。



a. チャンネルスイッチ [ON]

[ON] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、エアマイクのチャンネルを有効にできます。もう一度押しとOFFで無効にできます。

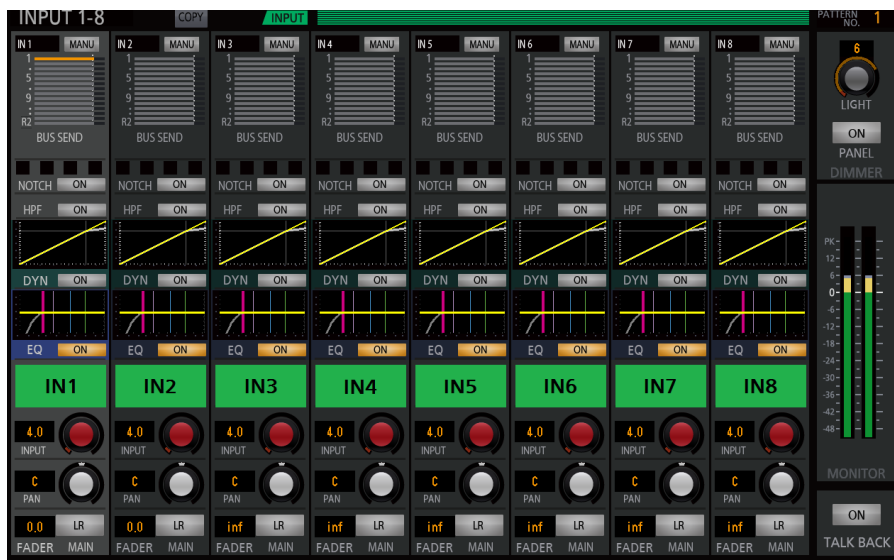
画面説明

マルチチャンネル画面

以下は「マルチチャンネル」画面の画面例です。

「マルチチャンネル」画面では、本体で選択されたチャンネルを含む、8ch分のパラメーターを設定・確認することができます。本体のディスプレイコントロール部で [SINGLE/MULTI] スイッチを押すと「シングルチャンネル」画面と「マルチチャンネル」画面を交互に表示します。シングルチャンネル画面でANN、AIR、TB/OSC、MAIN LRが表示されている場合には、「マルチチャンネル」画面への切り替えはできません。

「マルチチャンネル」画面は表示しているチャンネルにより、機能の有無、役割が変化します。



[INPUT1] ~ [INPUT24] チャンネル モノラル



[INPUT25] ~ [INPUT32] チャンネル ステレオ

画面説明



[BUS1] ~ [BUS8] チャンネル ([BUS9] ~ [BUS14] 同様)



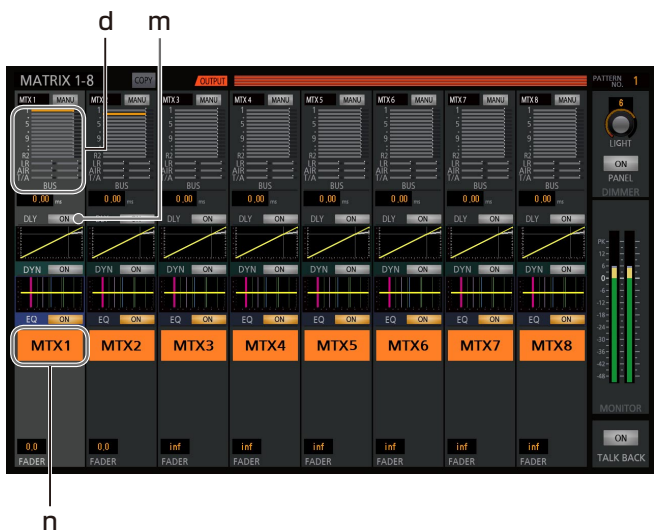
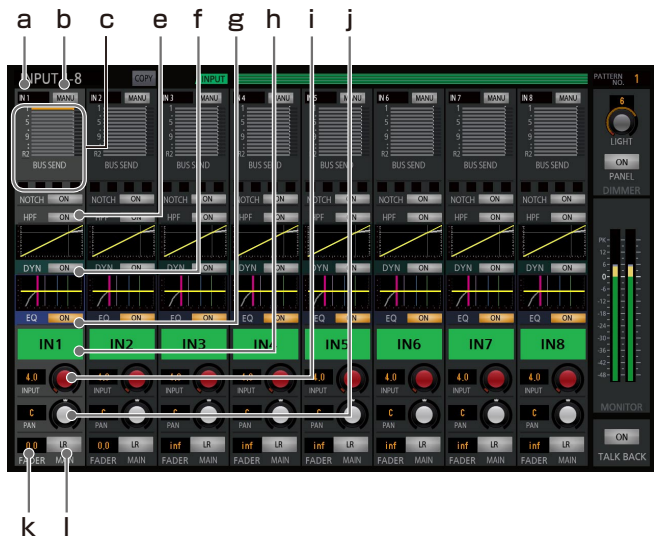
[MATRIX1] ~ [MATRIX8] チャンネル ([MATRIX9] ~ [MATRIX16] 同様)

操作対象チャンネルの選択

操作したいチャンネルをタッチすることで選択され、本体の [ACC] スイッチの選択状態と連動します。

■ チャンネルストリップ

1ch分のパラメーターを表示します。
「マルチチャンネル」画面では、チャンネルストリップを8ch分表示します。



a. チャンネル番号表示

各チャンネルストリップで表示しているチャンネル種別とチャンネル番号を表示します。
チャンネル種別により、下表のように表示します。

画面	チャンネル種別	表示内容	チャンネル番号
マルチチャンネル	INPUT	IN [Ch番号]	1~32
	REVERB RETURN	RTN [Ch番号] L, RTN [Ch番号] R	1, 2
	BUS	BUS [Ch番号]	1~14
	REVERB SEND	REV1, REV2	—
	MATRIX	MTX [Ch番号]	1~16

b. マニュアルスイッチ [MANU]

[MANU] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、手動設定を有効にできます。もう一度押しとOFFで無効にできます。
手動設定にすると、該当チャンネルをパターンメモリー、ミュートグループ (INPUTのみ)、フェーダーグループ (INPUTのみ) の制御から外すことができます。

c. バスアサイン表示 [1] ~ [14] [R1] [R2]

BUS1~14、REVERB1、2へのアサイン状態を表示します。バスへのアサインがONのとき、バーグラフエリアにアサインレベルを橙色で表示します。OFFのときは、灰色で表示します。

表示範囲：inf~設定値

d. MATRIXミキシング表示 [1] ~ [14] [LR] [AIR] [T/A]

MATRIXへのミキシング状態を表示します。[T/A]はトークバック/アナウンスマイクのレベルを表示します。MATRIXへのミキシングがONの時、データバーにミキシングレベルを「inf」~「設定値」まで橙色で表示します。「OFF」の時は灰色で表示します。

e. HPF設定 [ON]

[ON] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、HPFの設定を有効にできます。もう一度押しとOFFで無効にできます。

f. ダイナミクス設定 [ON]

[ON] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、ダイナミクスの設定を有効にできます。もう一度押しとOFFで無効にできます。
GATE、COMPの設定に応じた入出力特性をダイナミックスグラフに表示します。
ダイナミックスグラフをタッチすると、「シングルチャンネル」画面に切り替わります。

g. イコライザー設定 [ON]

[ON] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、EQの設定を有効にできます。もう一度押しとOFFで無効にできます。
HPF、EQの設定に応じた周波数特性をHPF・EQグラフに表示します。
EQグラフをタッチすると、「シングルチャンネル」画面に切り替わります。

画面説明

h. ダイナミックノッチ設定 [ON]

[ON] スイッチをタッチするとON（点灯）になり、ダイナミックノッチの設定を有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。

i. INPUTトリムノブ [INPUT]

[INPUT] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、INPUT TRIMレベルを調整することができます。また本体の [INPUT] ノブでも調整できます。

設定値は [INPUT] ノブの左側に表示されます。

j. PAN/BALLレベルノブ [PAN] [BAL]

PAN/BALLレベルノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、メインLRへのPAN/BALLレベルを調整することができます。また本体の [PAN/BAL] ノブでも調整できます。

設定値は [PAN] / [BAL] ノブの左側に表示されます。

k. フェーダーレベル表示 [FADER]

[FADER] の設定値エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、フェーダーレベルを調整することができます。

l. メインLRアサインスイッチ [LR]

[LR] スイッチをタッチするとON（点灯）になり、メインLRへのアサインを有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。

m. DELAY設定 [ON]

[ON] スイッチをタッチするとON（点灯）になり、DELAYの設定を有効にできます。もう一度押すとOFFで無効にできます。

設定値エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、DELAYの設定値を調整することができます。

n. チャンネル名称表示ラベル

チャンネルの名称を表示します。

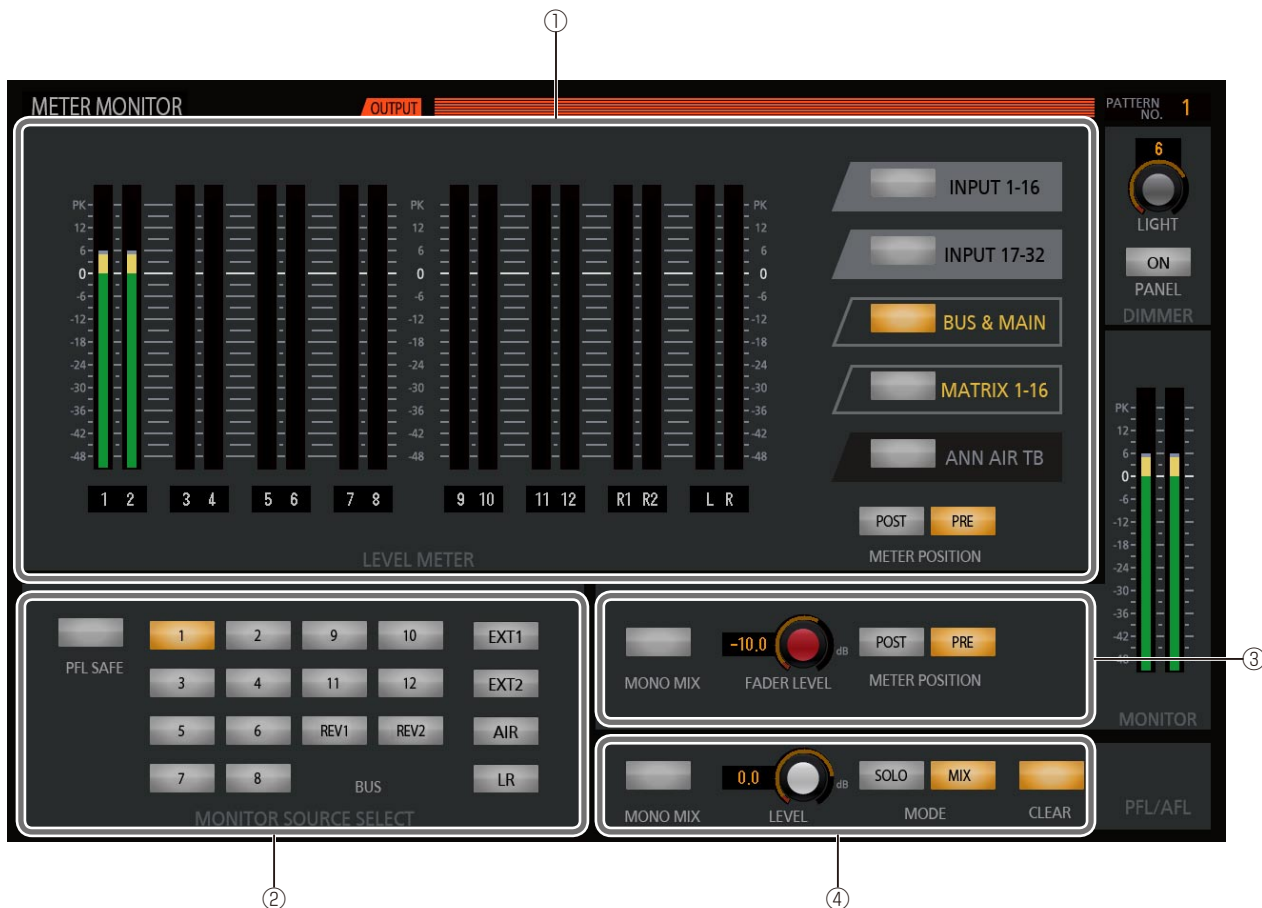
チャンネルの名称はPC用リモートコントロールソフトから設定します。

画面説明

メーター／モニター画面

「メーター／モニター」画面では、16ch単位でレベルメーターを一覧で確認することができ、またモニターの設定を行うことができます。

本体のディスプレイコントロール部で [METER/MONITOR] スイッチを押すと「メーター／モニター」画面を表示します。



① レベルメーター部

16ch単位でレベルメーターを一覧表示します。

② モニターソース選択部

モニターの入力信号を選択します。

③ モニター設定部

モニターの出力設定を行います。

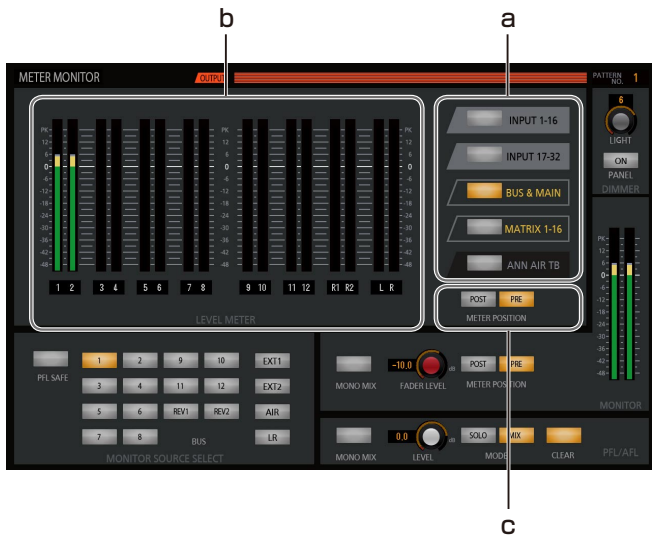
④ PFL/AFL設定部

PFL/AFLの設定を行います。

画面説明

■ レベルメーター部

レベルメーター部では、16ch単位でレベルメーターを一覧表示します。



a. 表示チャンネル選択 [INPUT 1-16] [INPUT 17-32] [BUS & MAIN] [MATRIX 1-16] [ANN AIR TB]

レベルメーターに表示するチャンネルを選択します。

スイッチ名称	表示チャンネル	チャンネル番号
INPUT 1-16	INPUT 1~16	1~16
INPUT 17-32	INPUT 17~32	17~32 REVERB使用時： 17~28、 R1 LR、R2 LR
BUS & MAIN	BUS1~14、 MAIN L、 MAIN R	1~14、L、R REVERB 使用時： 1~12、 R1、R2、L、R
MATRIX 1-16	MATRIX 1~16	1~16
ANN AIR TB	ANN、 AIR L、AIR R、 TB OSC	ANN AIR LR TB/OSC

b. レベルメーター

表示チャンネル選択で選択されているチャンネルの音声信号レベルを表示します。

[0] 表示は定格レベル (+4 dBu) に相当します。

緑色 : $-\infty$ ~+4 dBu未満

橙色 : +4 dBu~+21 dBu未満

赤色 : +21 dBu~24 dBu

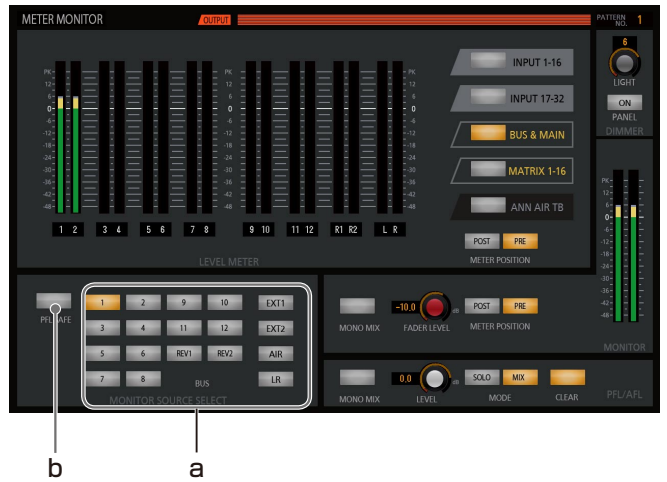
ピークホールドの設定にしたがい、ピークホールド値を表示します。ピークホールドの設定は、「ユーティリティ」画面の [SYSTEM] タブで行います。

c. メーターポジション選択 [POST] [PRE]

[POST] [PRE] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、信号の出力位置 (メーターポジション) を選択できます。[POST] [PRE] スイッチは択一選択です。

■ モニターソース選択部

モニターソース選択部では、モニターの入力信号を選択します。



a. モニターソース選択スイッチ [BUS] [1] ~ [14] [REV1] [REV2] [EXT1] [EXT2] [AIR] [LR]

各スイッチをタッチするとON (点灯) になり、モニターに出力する信号を選択できます。もう一度押すとOFFになります。モニターソースは択一選択です。モノラル設定のソースは、モニターのLch、Rchの両方から信号を出力します。ステレオ設定のソースは連動して選択され、奇数chの信号をモニターLchから、偶数chの信号をモニターRchから出力します。[EXT1] [EXT2] は、拡張スロットにEXT入力割り当てられた場合のみ有効で、割り当てられていない場合はスイッチを表示しません。

b. PFL/AFL割り込み禁止スイッチ [PFL SAFE]

[PFL SAFE] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、PFL/AFL信号がモニターへ割り込まないようにできます。もう一度押すとOFFになります。

画面説明

■ モニター設定部

モニター設定部では、モニターの出力設定を行います。



a. モノラルミックススイッチ [MONO MIX]

[MONO MIX] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、モニターの音声をモノラルミックス (モニターソース選択スイッチで選択したチャンネルの音がミキシングされモニターのLch、Rchの両方から信号を出力) することができます。もう一度押すとOFFになります。

b. モニターメーターポジションスイッチ [POST] [PRE]

[POST] [PRE] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、レベルメーターに表示する信号の出力位置 (メーターポジション) を選択できます。[POST] [PRE] スイッチは択一選択です。

c. フェーダーレベルノブ [FADER LEVEL]

[FADER LEVEL] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、モニターの出力レベルを調整することができます。

本体のモニターレベル [LEVEL] ノブでもモニターの出力レベルを調整することができます。

設定値は、[FADER LEVEL] ノブの左側に表示されます。

■ PFL/AFL設定部

PFL/AFL設定部では、PFL/AFLの設定を行います。



a. モノラルミックススイッチ [MONO MIX]

[MONO MIX] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、PFL/AFLの音声をモノラルミックスすることができます。もう一度押すとOFFになります。

b. PFL/AFL MODE選択スイッチ [SOLO] [MIX]

[SOLO] [MIX] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、PFL/AFLの選択方式を設定できます。[SOLO] [MIX] スイッチは択一選択です。

[SOLO] 選択時、ミキサー内のPFL/AFLスイッチは選ばれたチャンネルのみ有効になります。

[MIX] 選択時、複数選択可能になります。



- [SOLO] [MIX] スイッチで設定を切り替えると、いったん選択されているPFL/AFLがすべてOFFになります。

c. PFL/AFLレベルノブ [LEVEL]

[LEVEL] ノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、PFL/AFLの出力レベルを調整することができます。

設定値は、[LEVEL] ノブの左側に表示されます。

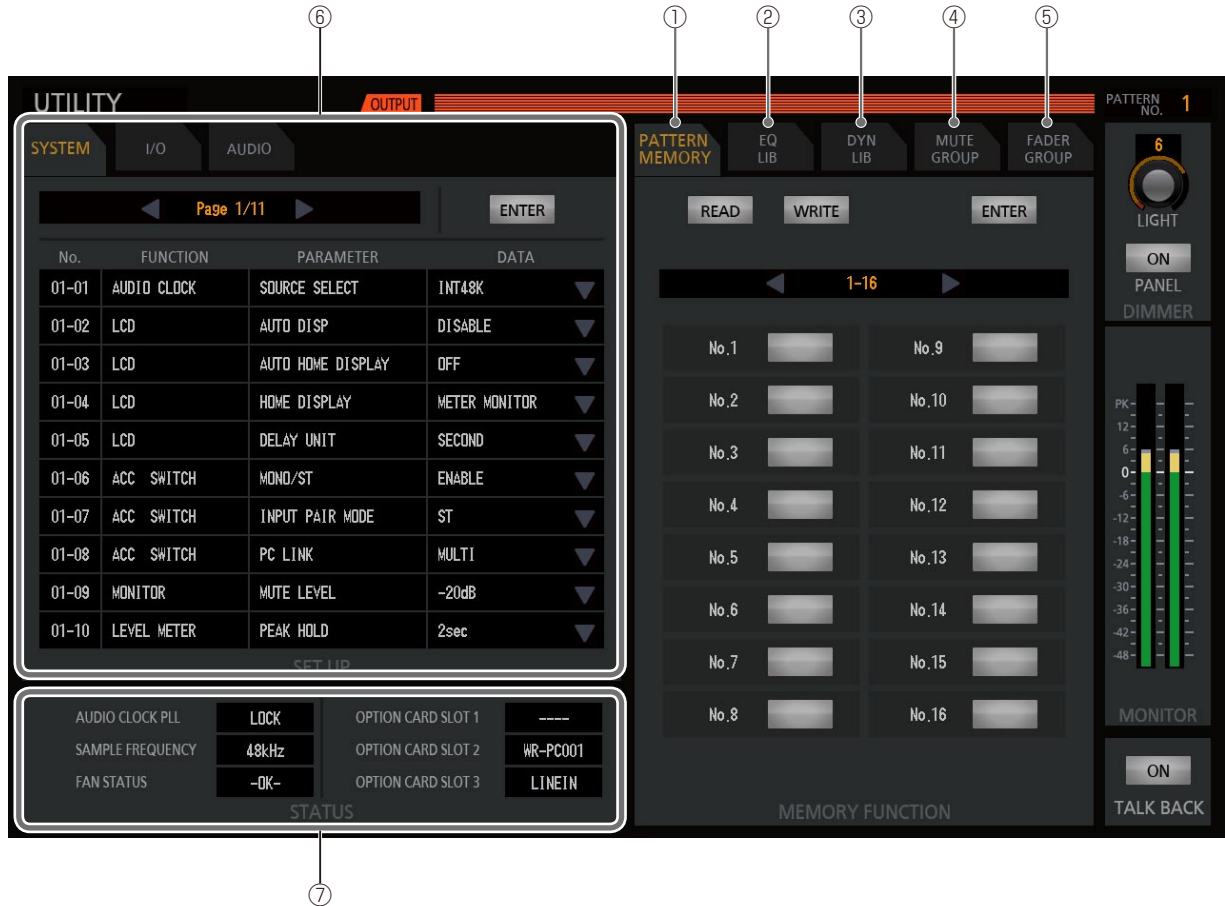
d. PFL/AFLクリアスイッチ [CLEAR]

[CLEAR] スイッチがON点灯しているときにタッチすると、すべてのチャンネルのPFL/AFLを一括してOFFに設定する (クリアする) ことができます。

ユーティリティ画面

「ユーティリティ」画面では、メモリーリード/ライト、ライブラリー管理、システム設定、オプション設定を行うことができます。

本体のディスプレイコントロール部で [UTILITY] スイッチを押すと「ユーティリティ」画面を表示します。



① ユーティリティ機能部 - パターンメモリータブ
パターンメモリーのリード/ライトを行います。

② ユーティリティ機能部 - EQライブラリータブ
イコライザー (EQ) ライブラリーのリード/ライトを行います。

③ ユーティリティ機能部 - DYNライブラリータブ
ダイナミクス (DYN) ライブラリーのリード/ライトを行います。

④ ユーティリティ機能部 - MUTE GROUPタブ
ミュートグループの設定/実行を行います。

⑤ ユーティリティ機能部 - FADER GROUPタブ
フェーダーグループの設定/実行を行います。

⑥ システム設定/オプション設定部
システム設定、オプション設定を行います。

⑦ ステータス表示部
システムの稼働状態を表示します。



- ユーティリティ機能部は以下の操作により各タブが選択できます。
 - 各画面共通、パターン番号表示エリア [PATTERN No.] をタッチ ⇒ パターンメモリータブ
 - 「シングルチャンネル」画面でダイナミクス [LIB] スイッチをタッチ ⇒ ダイナミクスライブラリータブ
 - 「シングルチャンネル」画面でイコライザー [LIB] スイッチをタッチ ⇒ イコライザーライブラリータブ
 - 本体のディスプレイコントロール部で [UTILITY] スイッチを押す ⇒ 前回表示していたタブ

画面説明

■ ユーティリティ機能部 – パターンメモリータブ

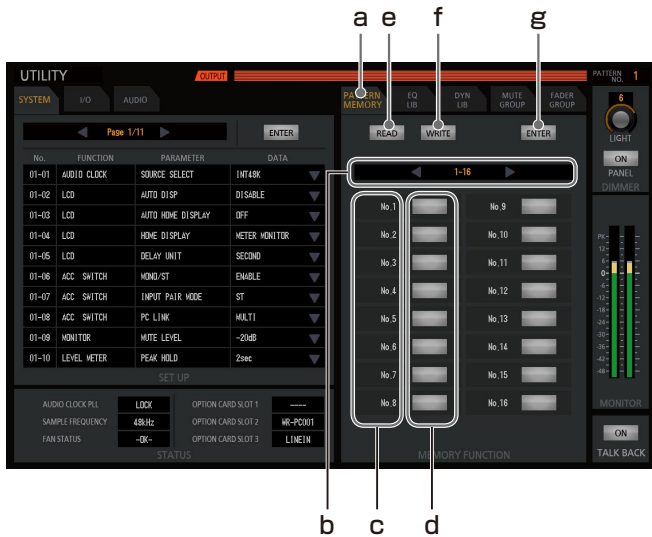
パターンメモリータブでは、パターンメモリーのリード／ライトを行います。

96個のパターンメモリーをリード／ライトすることができます。

設定手順などの詳細は「パターンメモリーの活用」(36ページ)をお読みください。

g. パターンメモリーリード／ライト実行スイッチ [ENTER]

点灯中の [ENTER] スイッチをタッチすると、パターンメモリーリード／ライトを実行することができます。



a. パターンメモリータブ [PATTERN MEMORY]

[PATTERN MEMORY] タブをタッチし、ユーティリティ機能部をパターンメモリーに切り替えます。

b. パターンメモリーページ選択エリア [1-16] [17-32] [33-48] [49-64] [65-80] [81-96]

96個のパターンメモリーのうち、16個ずつ操作することができます。操作するパターンメモリー番号が含まれる16個単位のパターンメモリーページを選択します。パターンメモリーページ選択エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、パターンメモリーページを選択します。[◀] [▶] スイッチでもページ切り替えができます。

c. パターンメモリー名称 [No.1] ~ [No.96]

各パターンメモリーの名称を表示します。
パターンメモリー名称は、PC用リモートコントロールソフトから設定することができます。

d. パターンメモリー番号スイッチ

スイッチをタッチするとON (点灯) になり、リード／ライトするパターンメモリー番号を選択できます。もう一度押すとOFFになります。

e. パターンメモリーリード選択スイッチ [READ]

[READ] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、パターンメモリーリードを行うことができます。再度 [READ] スイッチをタッチするとOFFになります。

f. パターンメモリーライト選択スイッチ [WRITE]

[WRITE] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、パターンメモリーライトを行うことができます。再度 [WRITE] スイッチをタッチするとOFFになります。

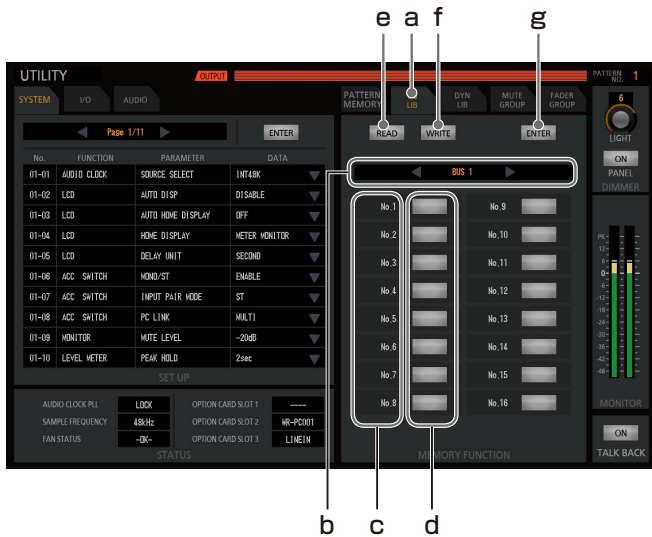
画面説明

■ ユーティリティ機能部 – EQライブラリータブ

EQライブラリータブでは、イコライザーライブラリーのリード/ライトを行います。

16個のイコライザーライブラリーをリード/ライトすることができます。

設定手順などの詳細は「ライブラリーの活用」(37ページ)をお読みください。



a. イコライザーライブラリータブ [EQ LIB]

[EQ LIB] タブをタッチし、ユーティリティ機能部をイコライザーライブラリーに切り替えます。

b. イコライザーライブラリーチャンネル選択エリア [CH]

イコライザーライブラリーで操作するチャンネルを選択します。チャンネルは下表から選択できます。

チャンネル種別	表示内容	チャンネル番号
INPUT	IN [Ch番号]	1~32
REVERB RETURN	RTN 1、RTN 2	—
BUS	BUS [Ch番号]	1~14
REVERB SEND	REV 1、REV 2	—
MAIN L・R	MAIN	—
MATRIX	MTX [Ch番号]	1~16
ANNOUNCE MIC	ANN	—
AIR MIC	AIR L、AIR R	—
TALK BACK/OSC	TB/OSC	—

イコライザーライブラリーチャンネル選択エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、イコライザーライブラリーチャンネルを選択します。[◀] [▶] スイッチでもイコライザーライブラリーチャンネルを選択できます。

c. イコライザーライブラリー名称 [No.1] ~ [No.16]

各イコライザーライブラリーの名称を半角英数字8文字で表示します。

イコライザーライブラリー名称は、PC用リモートコントロールソフトから設定することができます。

d. イコライザーライブラリー番号スイッチ

スイッチをタッチするとON (点灯) になり、リード/ライトするイコライザーライブラリー番号を選択できます。もう一度押すとOFFになります。

e. イコライザーライブラリーリード選択スイッチ [READ]

[READ] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、イコライザーライブラリーリードを行うことができます。再度 [READ] スイッチをタッチするとOFFになります。

f. イコライザーライブラリーライト選択スイッチ [WRITE]

[WRITE] スイッチをタッチするとON (点灯) になり、イコライザーライブラリーライトを行うことができます。再度 [WRITE] スイッチをタッチするとOFFになります。

g. イコライザーライブラリーリード/ライト実行スイッチ [ENTER]

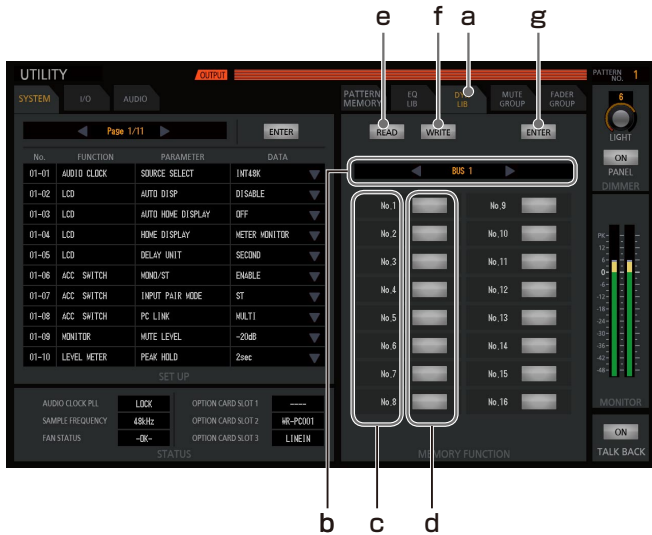
点灯中の [ENTER] スイッチをタッチすると、イコライザーライブラリーリード/ライトを実行することができます。

- GEQを使用しているMATRIXチャンネルで登録したイコライザーライブラリーを、GEQを使用していないチャンネルに読み出すことはできません。
- GEQを使用していないMATRIXチャンネルで登録したイコライザーライブラリーを、GEQを使用しているチャンネルに読み出すことはできません。
- MATRIX以外のチャンネルで登録したイコライザーライブラリーを、MATRIXチャンネルに読み出すことはできません。
- MATRIXチャンネルで登録したイコライザーライブラリーを、MATRIX以外のチャンネルに読み出すことはできません。

画面説明

■ ユーティリティ機能部 – DYNライブラリータブ

ダイナミックライブラリータブでは、ダイナミックライブラリーのリード/ライトを行います。
16個のダイナミックライブラリーをリード/ライトすることができます。



a. ダイナミックライブラリータブ [DYN LIB]

[DYN LIB] タブをタッチし、ユーティリティ機能部をダイナミックライブラリーに切り替えます。

b. ダイナミックライブラリーチャンネル選択エリア [CH]

ダイナミックライブラリーで操作するチャンネルを選択します。チャンネルは下表から選択できます。

チャンネル種別	表示内容	チャンネル番号
INPUT	IN [Ch番号]	1～32
REVERB RETURN	RTN 1、RTN 2	—
BUS	BUS [Ch番号]	1～14
REVERB SEND	REV 1、REV 2	—
MAIN L・R	MAIN	—
MATRIX	MTX [Ch番号]	1～16
ANNOUNCE MIC	ANN	—
AIR MIC	AIR L、AIR R	—
TALK BACK/OSC	TB/OSC	—

ダイナミックライブラリーチャンネル選択エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、ダイナミックライブラリーチャンネルを選択します。

c. ダイナミックライブラリー名称 [No.1] ～ [No.16]

各ダイナミックライブラリーの名称を半角英数字8文字で表示します。

ダイナミックライブラリー名称は、PC用リモートコントロールソフトから設定することができます。

d. ダイナミックライブラリー番号スイッチ

スイッチをタッチするとON (点灯) になり、リード/ライトするダイナミックライブラリー番号を選択できます。もう一度押しとOFFになります。

e. ダイナミックライブラリーリード選択スイッチ [READ]

[READ] スwitchをタッチするとON (点灯) になり、ダイナミックライブラリーリード/を行うことができます。再度 [READ] スwitchをタッチするとOFFになります。

f. ダイナミックライブラリーライト選択スイッチ [WRITE]

[WRITE] スwitchをタッチするとON (点灯) になり、ダイナミックライブラリーライトを行うことができます。再度 [WRITE] スwitchをタッチするとOFFになります。

g. ダイナミックライブラリーリード/ライト実行スイッチ [ENTER]

点灯中の [ENTER] スwitchをタッチすると、ダイナミックライブラリーリード/ライトを実行することができます。

画面説明

■ ユーティリティー機能部 – MUTE GROUPタブ

ミュートグループタブでは、ミュートグループの設定、実行を行います。

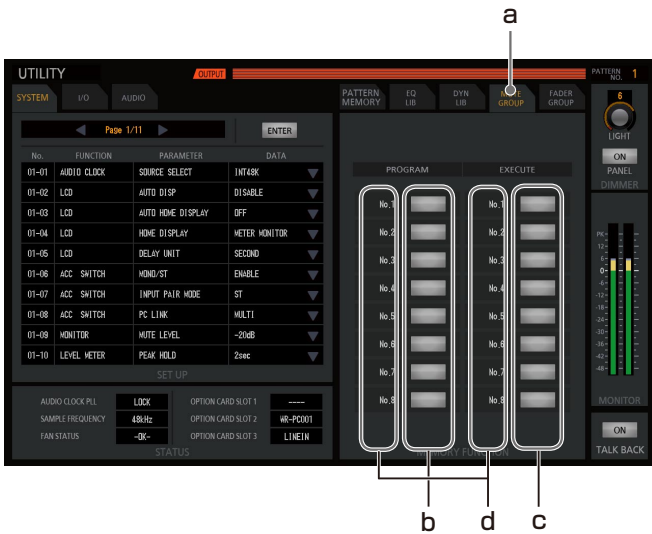
8個のミュートグループを設定、実行することができます。ミュートグループを使用することで、複数のINPUTチャンネルを一括してミュートグループに設定することができます。

設定手順などの詳細は「ミュートグループの活用」(38ページ)をお読みください。

d. ミュートグループ名称 [No.1] ~ [No.8]

各ミュートグループの名称を表示します。ミュートグループ名称は、PC用リモートコントロールソフトから設定することができます。

- 名称変更設定した時点で、書き込みが実行されたことを示すために、ミュートグループ名称の先頭に* (アスタリスク) を付加します。



a. ミュートグループタブ [MUTE GROUP]

[MUTE GROUP] タブをタッチし、ユーティリティー機能部をミュートグループに切り替えます。

b. ミュートグループ設定スイッチ [PROGRAM]

8個のミュートグループから、グルーピング設定を行うミュートグループを選択します。

c. ミュートグループ実行スイッチ [EXECUTE]

8個のミュートグループから、実行するミュートグループを選択します。

ミュートグループを実行すると、実行したミュートグループに登録されたINPUTチャンネルスイッチがOFFになります。

オプション設定の [MANUAL] スイッチ設定、[MANUAL] スイッチの状態により、下表のようにミュートグループ実行時の動作が異なります。

MANUAL スイッチ設定	MANUAL スイッチ状態	ミュートグループ 制御
PTN、MUTE-G、 FDR-G	OFF	有効
	ON	無効
PTN ONLY	OFF	有効
	ON	有効

画面説明

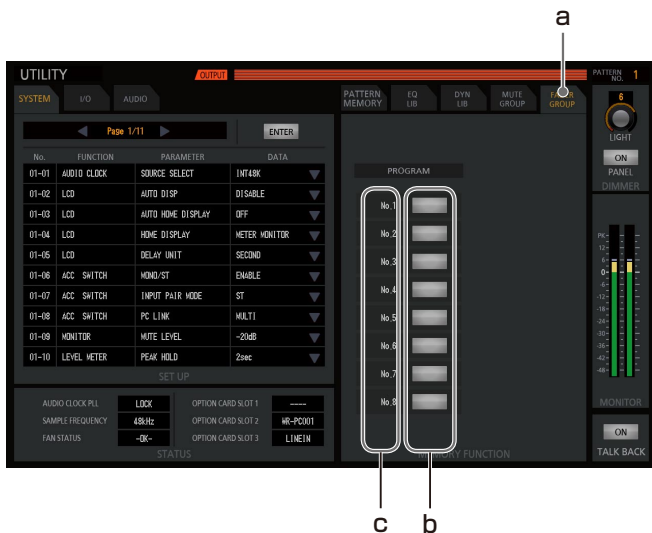
■ ユーティリティ機能部 – FADER GROUPタブ

フェーダーグループタブでは、フェーダーグループの設定を行います。

8個のフェーダーグループを設定することができます。

フェーダーグループを使用することで、複数のINPUTチャンネルのフェーダーレベルを一括して操作することができます。

設定手順などの詳細は「フェーダーグループの活用」(39ページ)をお読みください。



a. フェーダーグループタブ [FADER GROUP]

[FADER GROUP] タブをタッチし、ユーティリティ機能部をフェーダーグループに切り替えます。

b. フェーダーグループ設定スイッチ [PROGRAM]

8個のフェーダーグループから、グルーピング設定を行うフェーダーグループ番号を選択します。

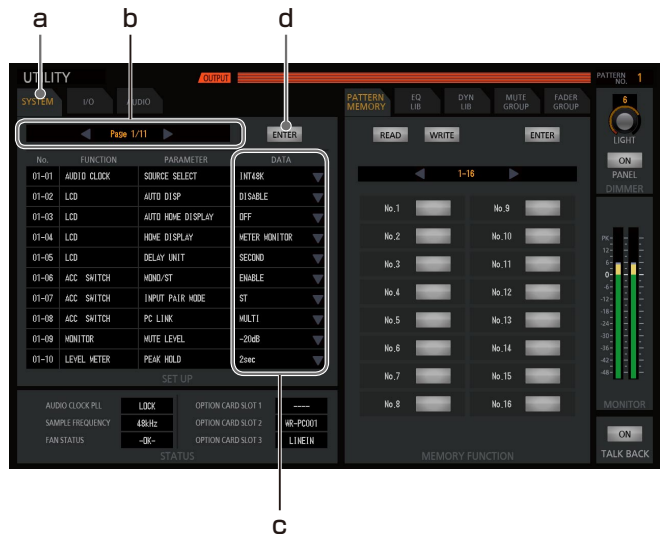
c. フェーダーグループ名称 [No.1] ~ [No.8]

各フェーダーグループの名称を表示します。
フェーダーグループ名称は、PC用リモートコントロールソフトから設定することができます。

- 名称変更設定した時点で、書き込みが実行されたことを示すために、フェーダーグループ名称の先頭に* (アスタリスク) を付加します。

■ システム設定部／オプション設定部

システム設定／オプション設定部では、システム設定、オプション設定を行います。



● SYSTEMタブ設定

a. システムタブ [SYSTEM]

[SYSTEM] タブをタッチし、システム設定部／オプション設定部をシステムに切り替えます。

b. ページ表示／選択ボタン [◀] [▶] [PAGE n/n]

機能設定を行うページを選択します。ページ番号と総ページ数を表示します。

ページ切り替えに応じて、機能番号表示、機能名称表示、設定項目表示、設定値表示／選択の内容が変化します。

c. 設定値表示／選択 [DATA]

項目をタッチすると、タッチした行が反転表示し、その状態で本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、設定値を変更することができます。

d. 実行スイッチ [ENTER]

設定値の変更を行うと、[ENTER] スイッチが橙色点灯します。この状態で [ENTER] スイッチをタッチすると、設定変更が確定します。

[ENTER] スイッチをタッチする前に、「ユーティリティ」画面をから他の画面を選択すると変更した内容を破棄します。

[SYSTEM] 設定する項目、[FUNCTION] [PARAMETER] [DATA] の詳細については、付録1 (50ページ)をお読みください。

画面説明

● I/Oタブ設定

I/Oタブの設定では、OUTPUT 1~16、SLOT1~3の設定をします。

[I/O] 設定する項目、[FUNCTION] [PARAMETER] [DATA] の詳細については、付録2 (57ページ) をお読みください。

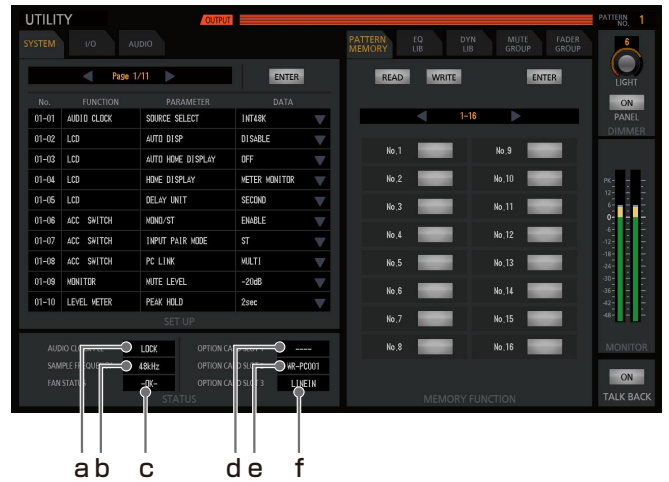
● AUDIOタブ設定

AUDIOタブ設定では、BUSセンド、REVERB、D-NOTCH、PEQ/GEQの設定をします。

[AUDIO] 設定する項目、[FUNCTION] [PARAMETER] [DATA] の詳細については、付録3 (59ページ) をお読みください。

■ ステータス表示部

ステータス表示部では、システムの稼働状態を表示します。



a. クロック状態 [AUDIO CLOCK PLL]

同期時は [LOCK]、非同期時は [UNLOCK] と表示します。

b. サンプリング周波数 [SAMPLE FREQUENCY]

サンプリング周波数を表示します。

c. ファン [FAN STATUS]

ファンの状態を表示します。

d. 拡張スロット1 使用カード表示 [OPTION CARD SLOT1]

拡張スロット1で使用しているカードを表示します。

カードの種類	表示内容
未使用	—
WR-PC001	WR-PC001
8ch AD カード	LINE IN

e. 拡張スロット2 使用カード表示 [OPTION CARD SLOT2]

拡張スロット2で使用しているカードを表示します。
カードの種類、表示内容はSLOT1と同じです。

f. 拡張スロット 使用カード表示 [OPTION CARD SLOT3]

拡張スロット3で使用しているカードを表示します。
カードの種類、表示内容はSLOT1と同じです。

音を加工する

本機には、以下のような機能が内蔵されています。

- ・ イコライザー (EQ)
- ・ ダイナミクス (DYN) (28ページ)
- ・ ダイナミックノッチ (D-NOTCH) (29ページ)
- ・ リバーブ (REVERB) (30ページ)
- ・ ディレイ (DELAY) (31ページ)
- ・ PAN/BAL (32ページ)

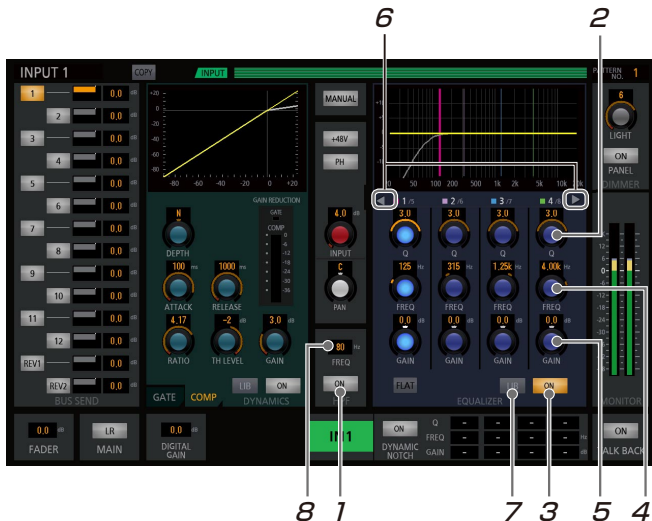
イコライザーの設定

イコライザーを使って、音声信号の特定の周波数帯域を強調／減衰させることができます。

ここでは、PEQ (パラメトリックイコライザー) を調整する方法について説明します。

PEQにはインプット、バスで調整できる4バンドイコライザーとマトリクスで調整できる8バンドイコライザーがあります。

「シングルチャンネル」画面のイコライザー設定部で設定します。



イコライザー設定は、次の手順で行います。

- 1 HPFの [ON] スイッチを押して、ハイパスフィルターを設定します。
消灯：イコライザー設定 (手順2へ)
点灯：HPF設定 (手順8へ)
- 2 Q調整ノブを使ってパラメーターを調整します。
 - 設定値が本調整ノブ上部のボックスに表示されます。
設定範囲：SHL、SHH、0.3~30
SHL：4バンドイコライザーのLOW、
8バンドイコライザーBand1のみ
SHH：4バンドイコライザーのHIGH、
8バンドイコライザーBand8のみ
- 3 イコライザー [ON] スイッチをON (点灯) にします。
 - 選択したインプットチャンネルのイコライザー機能が働きます。

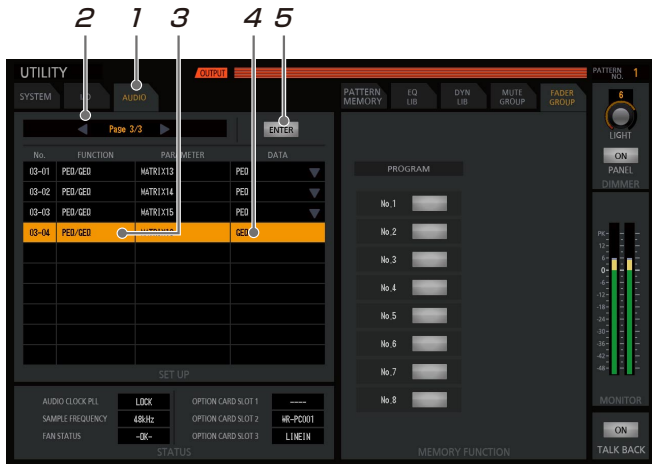
- 4 周波数調整ノブを使ってパラメーターを調整します。周波数はグラフ上に縦線でバンド別に違う色で表示します。選択中のバンドの周波数は太く表示します。
 - 設定値はノブ上部に表示します。
- 5 ゲイン調整ノブを使ってパラメーターを調整します。
 - 設定値はノブ上部に表示します。
- 6 イコライザーバンドを選択します。
 - 8バンドPEQで表示するイコライザーをバンド1~4 ([◀] スイッチ)、バンド5~8 ([▶] スイッチ) から選択します。チャンネル種別が「MATRIX」のときに表示します。
- 7 イコライザーライブラリー画面を表示します。
 - [LIB] スイッチをタッチします。「ユーティリティー」画面、イコライザーライブラリータブに遷移します。
- 8 周波数設定値エリアをタッチし、本体の [TOUCH/ PARAMETER] ノブを使ってハイパスフィルターのカットオフ周波数を調整します。
 - 設定値が本調整ボックスに表示されます。
設定範囲：20 Hz~1.8 kHz

音を加工する

■ PEQとGEQの切り替え設定

GEQ (ダイナミクスイコライザー) は31バンドのグラフィックイコライザーでマトリクスの13~16chで設定することができます。

PEQ/GEQの切り替えを「ユーティリティ」画面で行います。



- 1 「AUDIO」タブを選択します。
- 2 PAGE送りボタンをタッチして、「PAGE 3/3」にします。
- 3 「FUNCTION」欄の項目が「PEQ/GEQ」になっている行をタッチするとその行が反転表示します。
- 4 反転表示された状態で、本体 [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して「DATA」欄で割り当てたい操作スイッチ「GEQ」を選択します。
- 5 手順1~4の設定を行うと [ENTER] スイッチが橙点灯しタッチすることで設定内容が反映されます。



- [ENTER] スイッチをタッチする前に、「ユーティリティ」画面から他の画面に遷移すると設定した内容が破棄されます。

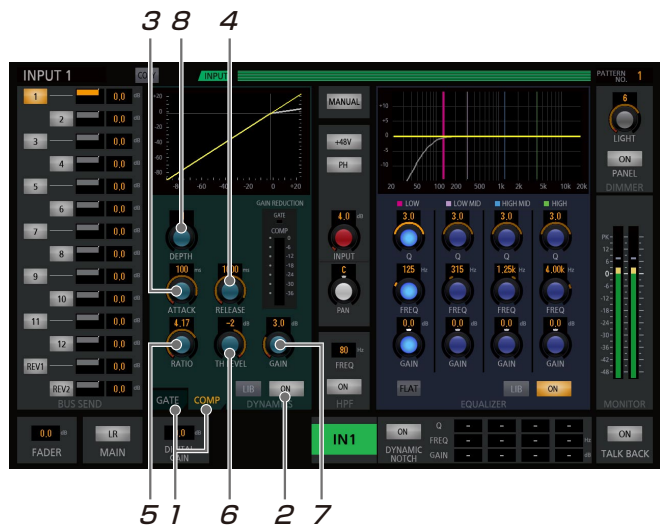
ダイナミクスの設定

ダイナミクスを使って、楽器、ボーカル等の音量を調整することができます。

本機ではダイナミクスとして以下の機能があります。

- コンプレッサー : 一定レベル以上の音声信号を圧縮する機能。
- ゲート : 一定レベル以下の音声信号を減衰する機能。チャンネル種別が、BUS、MAIN LR、MATRIXの場合は、コンプレッサー固定のためタブが表示されません。

「シングルチャンネル」画面のダイナミクス設定部で設定します。



ダイナミクス設定は、次の手順で行います。

- 1 [GATE] / [COMP] タブを押し、設定するダイナミクスのタイプを選択します。
- 2 ダイナミクス [ON] スイッチをON (点灯) にします。
 - 選択したインプットチャンネルのダイナミクス機能が働きます。
- 3 [ATTACK] ノブを使用してアタック時間を調整します。
 - 右に回すと増加し、左に回すと減少します。
調整範囲 : 0 ms~250 ms
- 4 [RELEASE] ノブを使用してリリース時間を調整します。
 - 右に回すと増加し、左に回すと減少します。
調整範囲 : 5 ms~2000 ms
- 5 [RATIO] ノブを使用しての圧縮量を調整します。(コンプレッサー機能選択時のみ)
 - 調整範囲 : 1.00~inf

音を加工する

- 6 [TH LEVEL] ノブを使用してを圧縮効果がかかり始める音量を調整します。
- 右に回すと1 dBずつ減少し、左に回すと1 dBずつ増加します。
- 調整範囲 : +24 dB~-36 dB
- 7 [GAIN] ノブを使用して音量を調整します。
- 右に回すと0.5 dBずつ増加し、左に回すと0.5 dBずつ減少します。(コンプレッサー機能選択時のみ)
- 調整範囲 : 0 dB~+12 dB
- 8 [DEPTH] ノブを使用してダイナミクス効果のかけ具合を調整します。(コンプレッサー機能選択時のみ)
- [DEPTH] ノブを操作すると手順3~7のパラメーターも連動して変化します。コンプレッサーのDEPTHは標準設定N(ニュートラル)を中心に、ハードなH1~H10(右に回す)とソフトなS1~S10(左に回す)の21段階から選択することができます。また、INPUTチャンネルでは、各値は下表のような音源を想定して調整されており、それぞれハードタイプとソフトタイプを選択できます。

DEPTH値	推奨音源
N	標準的な設定です。どんな音源でも無難に使用できます。
S1 H1	ピアノ、オルガン、シンセサイザー等の鍵盤楽器に適した設定です。
S2 H2	アコースティックギター、エレキギターなどに適した設定です。
S3 H3	ナレーションに適した設定です。
S4 H4	カラオケなどのボーカルに適した設定です。
S5 H5	バスドラムやベースなど、低音楽器に適した設定です。
S6 H6	ドラムに適した設定です。シンバル、スネアドラムなどに個々にかけるよりは、ドラムセット全体としてかけたほうが効果的です。
S7 H7	パーカッション類の楽器に適した設定です。
S8 H8	オーケストラ、ブラスバンド、カラオケの伴奏などに適した設定です。
S9 H9	銃声や爆発音などの効果音(SE)に適した設定です。
S10 H10	子供の声など、抑揚の大きな声に適した設定です。

ダイナミックノッチの設定

ダイナミックノッチは運用中リアルタイムにハウリング周波数の検出を行い、その周波数にノッチフィルターをかけてハウリングを抑制する機能です。ハンドマイクなど環境が刻々と変化する機器に対して有効です。ダイナミックノッチはモノラル設定の「INPUT1~24」チャンネルに設定することができます。

「シングルチャンネル」画面のダイナミックノッチ設定部で設定します。



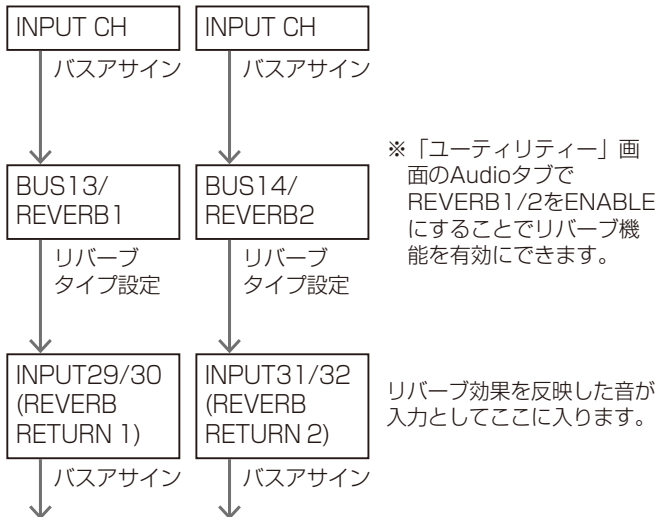
- 1 DYNAMIC NOTCH [ON] スイッチをON/OFF設定します。
OFF→ON : ダイナミックノッチがハウリング検出動作を開始し、常時ハウリング検出動作します。
ON→OFF : 検出済みのハウリングポイントをクリアし、ハウリング検出動作を停止します。
- 2 D-NOTCH設定を表示します。
 - D-NOTCHで検出したハウリングの抑制設定を表示します。

音を加工する

リバーブの設定

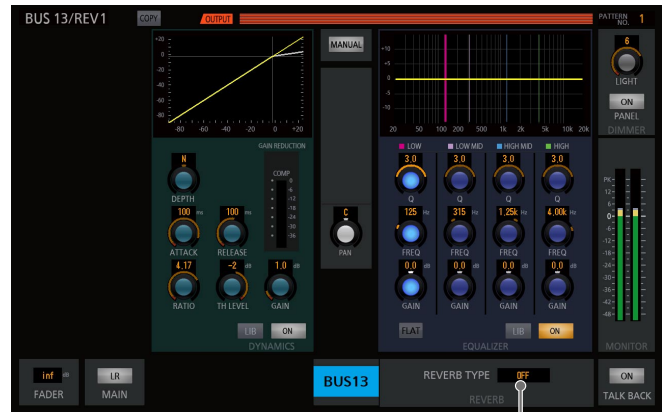
入力した音声に残響効果を与える機能です。

リバーブ1はバス13chに、リバーブ2はバス14chに搭載しており、リバーブ音の出力はそれぞれ [INPUT29/30] チャンネル、[INPUT31/32] チャンネルがリターン経路としてアサインされています。



- 本機のリバーブはボーカルなどの音声を主用途として調整されています。ドラム等、声以外の音声に適用した場合、不自然な音になる場合があります。

「シングルチャンネル」画面のREVERB設定部で設定します。



- 1 リバーブタイプの設定値エリアをタッチして、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して「REVERB TYPE」を選択します。

- 残響音には以下の5種類があります。

- ECHO1 : ディレイ音が繰り返される、いわゆる「やまびこエコー」です。
- ECHO2 : ECHO1に残響感を加えています。
- HALL : ホールのような大きな空間の残響感です。
- ROOM : 部屋の中のような残響感で、HALLより短めの残響時間です。
- PLATE : 鉄板リバーブのようなブライツな残響感です。

音を加工する

ディレイの設定

入力信号を一定時間遅延させ各入力機器の位相あわせたり、または、信号出力を一定時間遅延させスピーカー間の位相あわせや音の方向間制御などを行う機能です。

16基のディレイモジュールのインプットまたはマトリクスチャンネルで使用することができます。各ディレイモジュールのチャンネルへのアサインは、「ユーティリティ」画面で行います。

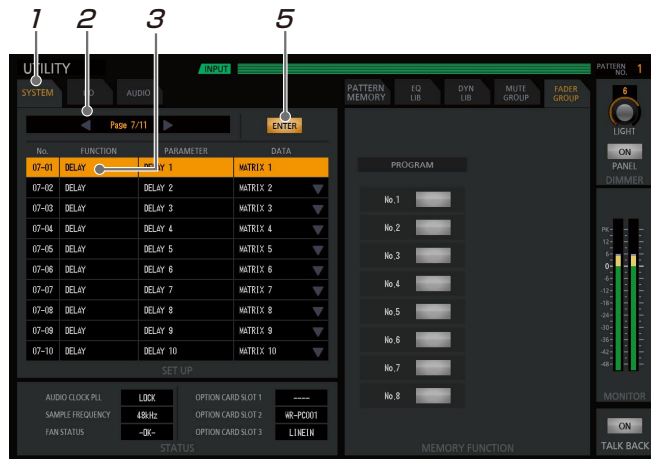
「シングルチャンネル」画面の入力パラメーター設定部のDELAY設定で設定します。



- 1 ディレイ [ON] スイッチをタッチしON (点灯) すると、ディレイを有効にできます。
- 2 ディレイの設定値エリアをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回してディレイ量を調整することができます。
 - [ディレイの設定エリアは、タッチするたびに整数部と小数部が切り替わります。整数部と小数部を順に調整します。整数部調整時に小数部の値が変わる(逆の場合も) のは正しい動作です。「ユーティリティ」画面の設定で、表示単位を時間 (ms) と距離 (m : Meter) で切り替えることができます。(50ページ)

ディレイのチャンネル設定

16基のディレイのインプットまたはマトリクスチャンネルへのアサインは、「ユーティリティ」画面で行います。



- 1 「SYSTEM」タブを選択します。
- 2 PAGE送りボタンをタッチして、「PAGE 7/11」にします。
- 3 「FUNCTION」欄の項目が「DELAY」になっている行をタッチするとその行が反転表示します。
- 4 反転表示された状態で、本体 [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して、チャンネルを選択します。
- 5 手順1 ~4 の設定を行うと [ENTER] スイッチが橙点灯しタッチすることで設定内容が反映されます。



- 音が出ているチャンネルにディレイを追加すると、一瞬音が途切れる場合があります。
- ステレオチャンネルの場合、奇数・偶数の両チャンネルにディレイの設定が必要です。奇数・偶数の両チャンネルがアサインされていない場合は、不自然な音になります。
- [ENTER] スイッチをタッチする前に、「ユーティリティ」画面から他の画面に遷移すると設定した内容が破棄されます。

音を加工する

PAN/BALの設定

ステレオバスに送出するときの定位を調整します。
モノラル入力では一つの音を分配するPAN（パンポット）、ステレオ入力では左右の入力に対して片方の入力を固定したままもう片方の入力を減衰させるBAL（バランス）となります。
チャンネル種別が「INPUT」「BUS」「MAIN L・R」「TALK BACK/OSC」の場合に表示します。

「モノラル入力」



「ステレオ入力」



7 [PAN] / [BAL] レベルノブをタッチし、本体の [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して調整します。

- 設定値を本調整ノブ上側のボックスに表示します。

設定範囲：L16～C～R16

その他の機能

本機には、他にも以下のような機能があります。ここでは以下の機能について説明します。

- ・ カスタムレイヤー
- ・ チャンネルコピー (34ページ)
- ・ パターンメモリー (36ページ)
- ・ ライブラリー (37ページ)
- ・ ミュートグループ (38ページ)
- ・ フェーダーグループ (39ページ)
- ・ データ初期化 (39ページ)
- ・ ユーザーレベル (40ページ)
- ・ モノラルとステレオの切替設定 (41ページ)
- ・ モノラルとフェーダーリンクの切替設定 (41ページ)

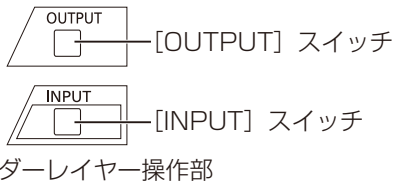
カスタムレイヤーの活用

カスタムレイヤーにより、チャンネルフェーダーモジュールのフェーダーレイアウトを自在に設定でき、入力フェーダーと出力フェーダーを同時に操作することができます。カスタムレイヤーの有効/無効と、各フェーダーへのチャンネルのアサインは「ユーティリティ」画面で行います。

■ カスタムレイヤーへの切替設定

[INPUT] スイッチと [OUTPUT] スイッチの同時押しで、[INPUT] と [OUTPUT] スイッチの両スイッチが点灯し、カスタムレイヤーに切り替わります。

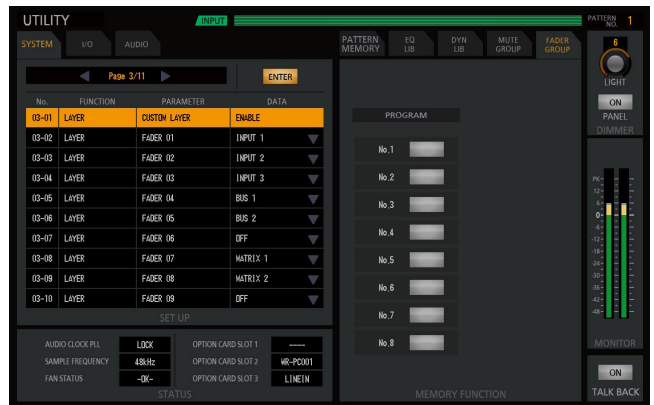
[INPUT] (または [OUTPUT]) スイッチを押すと、カスタムレイヤーからインプット(またはアウトプット)レイヤーに切り替わります。



- カスタムレイヤー選択時は、モノラルとステレオの切り替えはできません。

■ フェーダーのチャンネル設定

カスタムレイヤーの有効/無効と、各フェーダーへのチャンネルのアサインは「ユーティリティ」画面で行います。



- 1 「SYSTEM」タブを選択します。
- 2 PAGE送りボタンをタッチして、「PAGE 3/11」にします。
- 3 No.03-01の行をタッチするとその行が反転表示します。
- 4 反転表示された状態で、本体 [TOUCH/ PARAMETER] ノブを回して有効 (ENABLE) を選択します。
- 5 No.03-02の行をタッチするとその行が反転表示します。
- 6 反転表示された状態で、本体 [TOUCH/ PARAMETER] ノブを回して、チャンネルを選択します。
- 7 手順1～6の設定を行うと [ENTER] スイッチが橙点灯しタッチすることで設定内容が反映されます。



- INPUTとBUSのステレオチャンネルは、片方のチャンネルのみを設定することができます。
- チャンネル設定がされていない場合は、カスタムレイヤーには切り替わりません。
- [ENTER] スイッチをタッチする前に、「ユーティリティ」画面から他の画面に遷移すると設定した内容が破棄されます。

その他の機能

チャンネルコピーの活用

チャンネルの設定情報を、他のチャンネルにコピーすることができます。
コピー対象は、①HPF/イコライザー、②ダイナミクス設定、③バスセンド/マトリクスチャンネルのバスミキシング設定情報です。また、コピー対象を、項目選択してコピーすることもできます。



画面上部のチャンネルコピー操作部は操作により、下記になります。

初期状態



[COPY] スイッチをタッチ後



[PASTE] スイッチをタッチ後



その他の機能

a. コピースイッチ [COPY]

[COPY] スイッチをタッチすると、一定時間橙点灯し、現在の選択されているチャンネルの設定情報がコピーバッファにコピーされ、[PASTE] スイッチが表示されます。再度、[COPY] スイッチをタッチすると、コピーバッファにコピーされている設定情報が更新されます。

b. ペーストスイッチ [PASTE]

[PASTE] スイッチをタッチすると、[PASTE] スイッチが点灯(橙色)し、[PASTE] スイッチの右に、[EQ] / [DYN] / [BUS] / [OK ?] スイッチが表示されます。

c. HPF/イコライザー設定スイッチ [EQ]

コピー対象として、HPFとイコライザー設定の項目が選択されている場合は、[EQ] スイッチが点灯(橙色)します。[EQ] スイッチのタッチにより、コピー対象から外すこともできます。ペースト先のチャンネルがペースト不可の場合は、消灯します。

d. ダイナミクス設定スイッチ [DYN]

コピー対象として、ダイナミクス設定の項目が選択されている場合は、[DYN] スイッチが点灯(橙色)します。[DYN] スイッチのタッチにより、コピー対象から外すこともできます。ペースト先のチャンネルがペースト不可の場合は、消灯します。

e. バスセンド/マトリクスチャンネルのバスミキシング設定スイッチ [BUS]

コピー対象として、バスセンド(INPUTチャンネル時)/マトリクスチャンネルのバスミキシング(MATRIXチャンネル)設定の項目が選択されている場合は、[BUS] スイッチが点灯(橙色)します。[BUS] スイッチのタッチにより、コピー対象から外すこともできます。また、ペースト先のチャンネルがペースト不可の場合は、消灯します。

f. 確認スイッチ [OK?]

[OK?] スイッチをタッチするとコピーが行われ、[COPY] と [PASTE] スイッチのみの表示となります。[EQ] / [DYN] / [BUS] / [OK ?] スイッチが消灯しているときは、[OK?] スイッチも消灯となり、[OK?] スイッチをタッチしても、コピーも行われません。

■ チャンネルコピーの操作

- 1 コピー元のチャンネルを選択します。
マルチチャンネル画面のときは、コピー元のチャンネルをタッチします。選択されたチャンネルはチャンネルの背景色が変わります。シングルチャンネル画面のときは、コピー元のチャンネルの本体チャンネルフェーダーモジュールの [ACC] スイッチを押します。
- 2 [COPY] スイッチをタッチする。
- 3 [PASTE] スイッチをタッチする。
- 4 ペースト先のチャンネルを選択します。
マルチチャンネル画面のときは、ペースト先のチャンネルをタッチします。選択されたチャンネルはチャンネルの背景色が変わります。シングルチャンネル画面のときは、ペースト先のチャンネルの本体チャンネルフェーダーモジュールの [ACC] スイッチを押します。
- 5 [OK ?] スイッチをタッチする。



- 以下の表は、チャンネル間で設定情報のコピーの可否を表します。

DX400 パラメータコピー/ペーストマトリクス

コピー元	コピーバッファ			ペースト先																						
	EQ	DYN	BUS	INPUT			BUS			LR			MATRIX			AIR			TB			ANN				
INPUT	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	
BUS	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×
LR	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×
MATRIX	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
AIR	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
TB	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
ANN	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○

○：コピー可、×：コピー不可

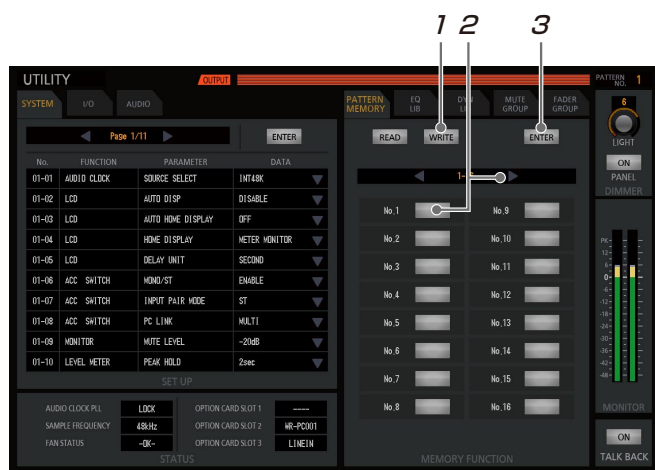
その他の機能

パターンメモリの活用

パターンメモリとは、フェーダー、チャンネルON/OFF、イコライザー、マトリクスON/OFFなどの各種パラメーター値をミキサーの運用環境パターンとして登録するものです。パターンメモリに登録した情報は、電源をOFFにしても消去されません。登録したパターンメモリは簡単な操作で呼び出すことができます。

パターンメモリは、96パターンまで登録できます。パターンメモリはユーティリティ機能部 - パターンメモリタブで操作します。「ユーティリティ」画面の [PATTERN MEMORY] タブをタッチします。

■ パターンメモリを書き込む

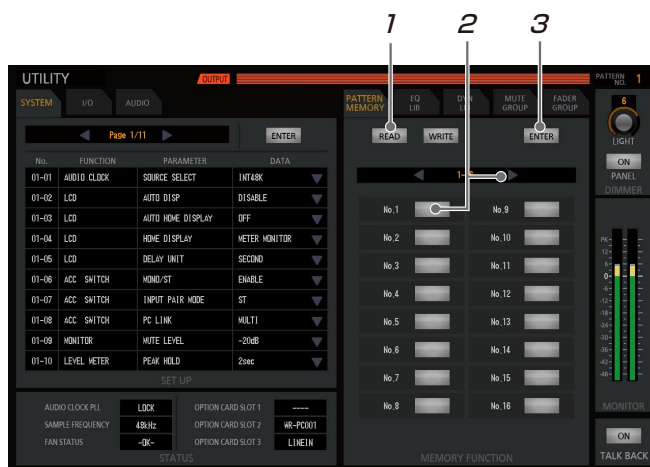


- 1 [WRITE] スイッチをタッチします。
 - [WRITE] スイッチが赤色点灯し、書き込みモードになります。
- 2 パターンメモリページ選択ボタン、パターンメモリ番号スイッチをタッチし、書き込むパターンメモリ番号を選択します。
 - 選択したパターンメモリ番号スイッチが橙色点灯します。
- 3 [ENTER] スイッチをタッチします。
 - パターンメモリの書き込みを実行し、本機の現在の状態をメモリに保存します。
 - パターンメモリの書き込みを実行した時点で、書き込みが実行されたことを示すために、パターンメモリ名称の先頭に* (アスタリスク) を付加します。



- パターンメモリ書き込みを実行する前に、以下の操作を行うと書き込みモードが解除されます。
 - ・再度、[WRITE] スイッチをタッチする。
 - ・[READ] スイッチをタッチする。
 - ・「ユーティリティ」画面から他の画面に遷移、[PATTERN MEMORY] タブから他のタブに遷移する。
- 「ユーティリティ」画面以外を表示している状態から、共通項目 - パターン番号表示をタッチして「ユーティリティ」画面に遷移した場合、パターンメモリ登録/呼び出しを実行すると、自動的に元の画面に戻ります。

■ パターンメモリを呼び出す



- 1 [READ] スイッチをタッチします。
 - [READ] スイッチが青色点灯し、呼び出しモードになります。
- 2 パターンメモリページ選択ボタン、パターンメモリ番号スイッチをタッチし、呼び出すパターンメモリ番号を選択します。
 - 選択したパターンメモリ番号スイッチが橙色点灯します。
- 3 [ENTER] スイッチをタッチします。
 - パターンメモリの呼び出しを実行し、パターンメモリの内容が反映されます。



- パターンメモリ呼び出しを実行する前に、以下の操作を行うと読み出しモードが解除されます。
 - ・再度、[READ] スイッチをタッチする。
 - ・[WRITE] スイッチをタッチする。
 - ・「ユーティリティ」画面から他の画面に遷移、[PATTERN MEMORY] タブから他のタブに遷移する。

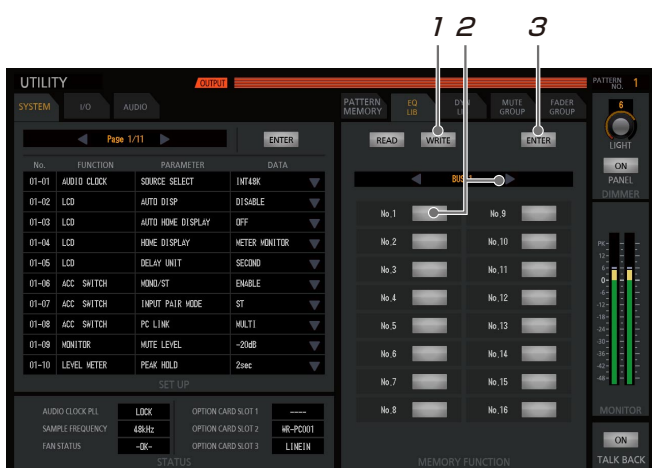
その他の機能

ライブラリーの活用

イコライザー（EQ）やダイナミクス（DYN）の設定を16個まで登録し、ライブラリーとして蓄えておくことができます。ライブラリーに登録された設定は、好きなときに呼び出すことができます。

ここでは、イコライザーライブラリーの説明をします。「ユーティリティ」画面の「EQ LIB」タブをタッチします。

■ イコライザーライブラリーを書き込む



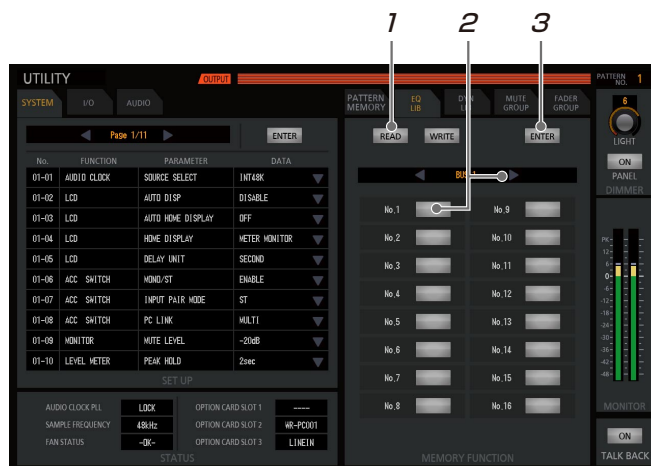
- 1 [WRITE] スイッチをタッチします。
 - [WRITE] スイッチが赤色点灯し、書き込みモードになります。
- 2 チャンネル選択スイッチで対象チャンネルを選択後、イコライザーライブラリー番号スイッチをタッチし、書き込むイコライザーライブラリー番号を選択します。
 - 選択したイコライザーライブラリー番号スイッチが橙色点灯します。
- 3 [ENTER] スイッチをタッチします。
 - イコライザーライブラリー書き込みを実行し、対象チャンネルのイコライザー設定を保存します。
 - 書き込みを実行した時点で、イコライザーライブラリー番号が書き込んだチャンネル番号に書き替わります。



- MATRIX以外のチャンネルで登録したイコライザーライブラリーを、MATRIXチャンネルに読み出すことはできません。
- MATRIXチャンネルで登録したイコライザーライブラリーを、MATRIX以外のチャンネルに読み出すことはできません。
- GEQを使用しているMATRIXチャンネルで登録したイコライザーライブラリーを選択した場合、読み出し対象のチャンネルがGEQを使用していないチャンネルの場合読み出すことができません。逆に、GEQを使用していないMATRIXチャンネルで登録したイコライザーライブラリーを選択した場合、読み出し対象のチャンネルがGEQを使用しているチャンネルの場合読み出すことができません。

ダイナミクスライブラリーは「DYN LIB」タブを使用した同様の操作になります。

■ イコライザーライブラリーを呼び出す



- 1 [READ] スイッチをタッチします。
 - [READ] スイッチが青色点灯し、呼び出しモードになります。
- 2 チャンネル選択スイッチで対象チャンネルを選択後、イコライザーライブラリー番号スイッチをタッチし、呼び出すイコライザーライブラリー番号を選択します。
 - 選択したイコライザーライブラリー番号スイッチが橙色点灯します。
- 3 [ENTER] スイッチをタッチします。
 - イコライザーライブラリー呼び出しを実行し、対象チャンネルにイコライザーライブラリーの内容が反映されます。

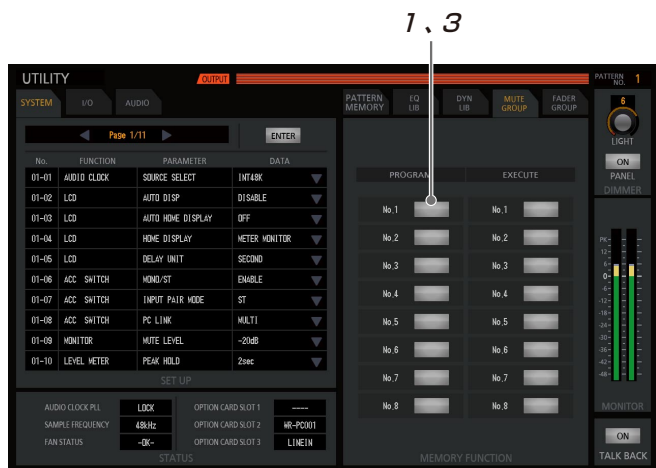
ダイナミクスライブラリーは「DYN LIB」タブを使用した同様の操作になります。

その他の機能

ミュートグループの活用

ミュートグループは、複数の入力チャンネルスイッチを1つのグループにまとめて同時にON/OFFする機能です。8種類のミュートグループを登録し、実行することができます。「ユーティリティー」画面の[MUTE GROUP]タブをタッチします。

■ ミュートグループの登録



1 [PROGRAM] 内8個のミュートグループ [No.1] ~ [No.8] スイッチからグルーピング設定を行うミュートグループ番号をタッチします。

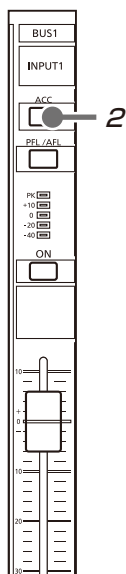
- 選択したスイッチが橙色点灯し、グルーピングモードになります。



- グルーピングモードになった場合、OUTPUTレイヤー選択状態でも自動的にINPUTレイヤーに切り替わります。

2 本体チャンネルフェーダーモジュールの各入力チャンネルで [ACC] スイッチを押し、ミュートグループへの登録/登録解除を行います。

- 登録するチャンネルは [ACC] スイッチが点灯し、登録解除するチャンネルは [ACC] スイッチが点滅します。1つの入力チャンネルを、複数のミュートグループに登録することができます。



3 点灯している手順1で選択したミュートグループスイッチをタッチします。

- ミュートグループ登録が完了し、グルーピングモードを解除します。
- グルーピングモード前にOUTPUTレイヤー選択状態だった場合、自動的にOUTPUTレイヤーに戻ります。

■ ミュートグループの実行



1 [EXECUTE] 内8個のミュートグループ [No.1] ~ [No.8] スイッチから呼び出すミュートグループ番号をタッチします。

- ミュートグループが実行され、ミュートグループスイッチが橙点灯します。再度タッチすると、ミュートが解除され、ミュートグループスイッチも消灯します。またミュートグループを複数同時に実行することができます。



- ミュートグループが実行中でも、ミュートグループに登録された入力チャンネルのチャンネルON/OFF操作は可能です。

その他の機能

フェーダーグループの活用

フェーダーグループを使用すると、1つのフェーダーで複数の入力チャンネルの入力レベルを同時に変更することができます。8種類のフェーダーグループを登録し、実行させることができます。

「ユーティリティー」画面の [FADER GROUP] タブをタッチします。

■ フェーダーグループの登録



1 8個のフェーダーグループ [No.1] ~ [No.8] スイッチからグルーピング設定を行うフェーダーグループ番号をタッチします。

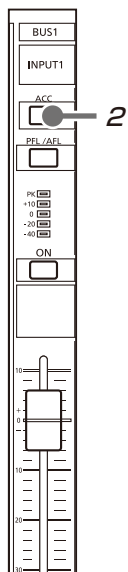
- 選択したスイッチが橙色点灯し、グルーピングモードになります。
- グルーピングモードになった場合、OUTPUTレイヤー選択状態でも自動的にINPUTレイヤーに切り替わります。

2 本体チャンネルフェーダーモジュールの各入力チャンネルで [ACC] スイッチを押し、フェーダーグループへの登録/登録解除を行います。

- 登録するチャンネルは [ACC] スイッチが点灯し、登録解除するチャンネルは [ACC] スイッチが点滅します。消灯状態の [ACC] スイッチは、別のフェーダーグループに登録済みを表します。
- 1つの入力チャンネルは、1つのフェーダーグループのみに登録することができます。
- 登録した時点からフェーダーグループ内の他のフェーダー操作に連動して動作します。

3 点灯しているフェーダーグループ選択スイッチをタッチします。

- フェーダーグループ登録が完了し、グルーピングモードが解除します。
- グルーピングモード前にOUTPUTレイヤー選択状態だった場合、自動的にOUTPUTレイヤーに戻ります。



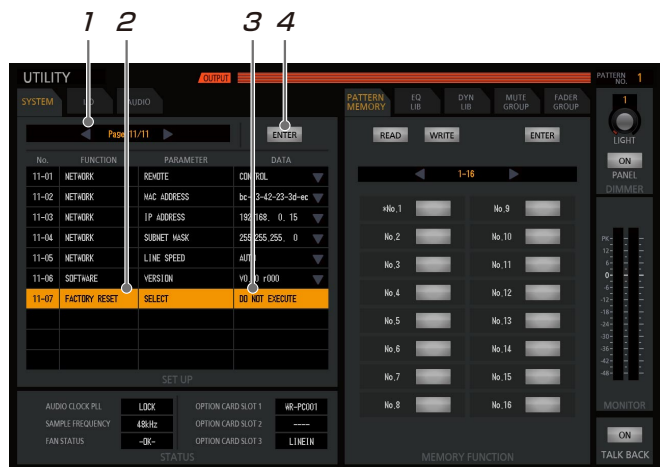
データの初期化（データクリア）

データの初期化を行います。



- データの初期化を行うと工場初期出荷値に戻りますので、必要なデータはバックアップするなどしてから実施してください。

「ユーティリティー」画面の [SYSTEM] タブをタッチします。



1 PAGE送りボタンをタッチして、「PAGE 11/11」にします。

2 「FUNCTION」欄の項目が「FACTORY RESET」になっている行をタッチすると、その行が反転表示します。

3 反転表示された状態で、本体 [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して「DATA」欄で「EXECUTE」を選択します。

4 手順1~3の設定を行うと [ENTER] スイッチが橙色点灯しタッチすることで工場出荷時の設定に戻ります。



- [ENTER] スイッチをタッチする前に、「ユーティリティー」画面から他の画面に遷移すると設定した内容が破棄されます。

その他の機能

ユーザーレベルの設定

本機では、ユーザーレベルが3つあります。

- ADMINISTRATOR
- ENGINEER
- OPERATOR

ENGINEERとOPERATORのユーザーレベルには、それぞれ操作の制限を設定することができます。

■ ユーザーレベルの設定

工場出荷設定では、本体のディスプレイコントロール部の [UTILITY] スイッチと、チャンネルフェーダーモジュールの [INPUT32] の [ACC] スイッチの同時押し（1秒以上）で本機のユーザーレベルをADMINISTRATORに設定できます。

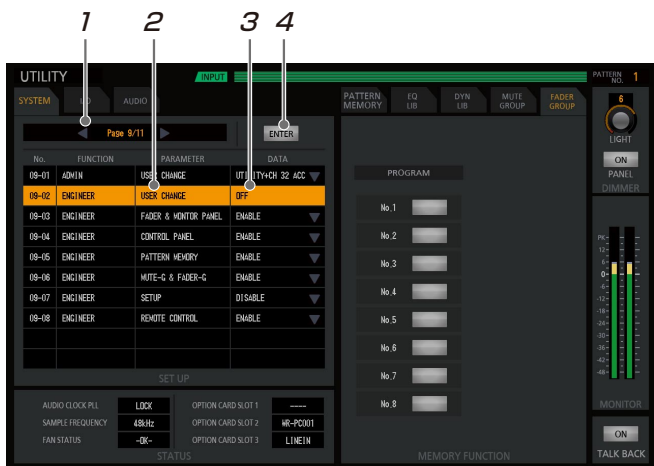
OPERATOR、ENGINEERの設定は、「ユーティリティ」画面の [SYSTEM] 内での機能設定によって、設定することができるようになります。

■ OPERATOR、ENGINEER の機能設定



- ユーザーレベルの機能設定を行うと操作できる機能が制限されますのでご注意ください。

「ユーティリティ」画面の [SYSTEM] タブをタッチします。



- 1 PAGE送りボタンをタッチして、「PAGE 9/11（または10/11）」にします。
- 2 「FUNCTION」欄が「ENGINEER（またはOPERATOR）」で「PARAMETER」欄が「USER CHANGE」の行をタッチするとその行が反転表示します。
- 3 ユーザーレベルの切り替え方法は、反転表示された状態で、本体 [TOUCH/PARAMETER] ノブを回して「DATA」欄で割り当てたい操作スイッチ「UTILITY+CH*」を選択します。

- 4 手順1～3の設定を行うと [ENTER] スイッチが橙点灯しタッチすることで設定内容が反映されます。



- [ENTER] スイッチをタッチする前に、「ユーティリティ」画面から他の画面に遷移すると設定した内容が破棄されます。

■ ユーザーレベルの設定項目

以下の項目について機能の「有効／無効」を設定できます。

PARAMETER	設定内容
USER CHANGE	ユーザーレベル設定に使用するスイッチ選択
FADER & MONITOR PANEL	本体チャンネルフェーダーモジュール 本体フェーダーレイヤー操作部 本体モニターセクション 画面での内容確認
CONTROL PANEL	本体チャンネルコントロール部 「シングルチャンネル」画面 「マルチチャンネル」画面 「メーター／モニター」画面 「ユーティリティ」画面内 [EQ LIB] タブ 「ユーティリティ」画面内 [DYN LIB] タブ
PATTERN MEMORY	[REMOTE] 端子CONT1-IN～CONT8-IN 「ユーティリティ」画面内「PATTERN MEMORY」タブ
MUTE GROUP & FADER GROUP	「ユーティリティ」画面内「MUTE GROUP」タブ 「ユーティリティ」画面内「FADER GROUP」タブ
SETUP	「ユーティリティ」画面内「SYSTEM」タブ 「ユーティリティ」画面内「OPTION」タブ
REMOTE CONTROL	PC用、iPad用リモートコントロールソフトからの制御

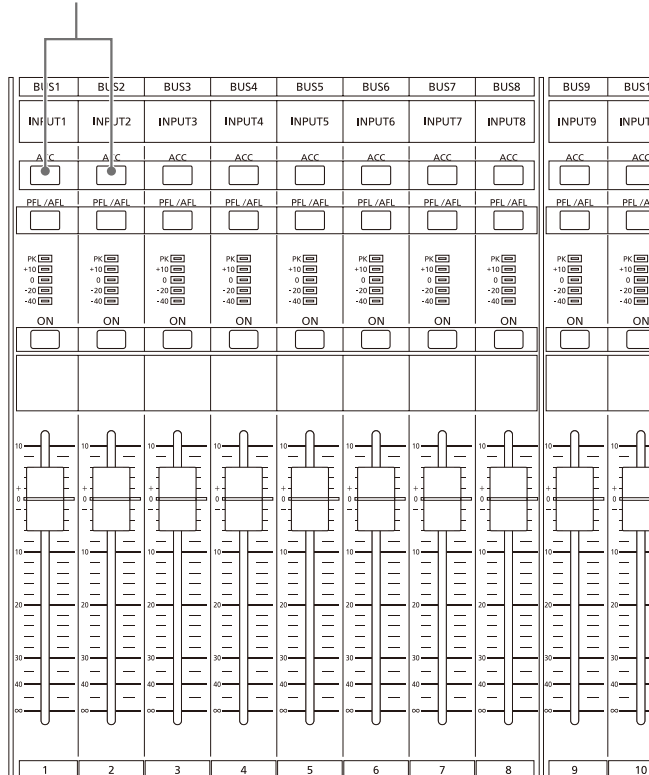


- 現在のユーザーレベルが「ADMINISTRATOR」の場合は、すべてのユーザーレベルの設定を確認・変更することができます。
- 現在のユーザーレベルが「ENGINEER」の場合は、「OPERATOR」「ENGINEER」の設定を確認・変更することができます。
- 現在のユーザーレベルが「OPERATOR」の場合は、[SYSTEM] タブのPage1/11の設定のみ確認できます。
- 「USER CHANGE」が「OFF」設定時は、該当ユーザーレベルへの切り替えを無効にします。

モノラルとステレオの切替設定

INPUTチャンネル、BUSチャンネルで奇数 - 偶数で連続するチャンネルのアクセススイッチを押すと、モノラル/ステレオ設定を切り替えることができます。

[ACC] スイッチ (奇数、偶数)



チャンネルフェーダーモジュール

7 2つのアクセススイッチを同時に1秒押します。

モノラルからステレオに切り替える際は、最初に押したチャンネルの設定が、後に押したチャンネル側にコピーされます。ステレオ設定時は、[ACC] スイッチの片方は点灯し、他方は点滅し、パラメータが連動します。

- ステレオ設定時に再度同時に押すと、モノラル設定に戻ります。



- ユーティリティ画面のSYSTEMタブでINPUT PAIR MODEがSTに設定されていないときは、パラメータが連動しません (インプットチャンネル(INPUT 1~24) のみ対象)。
- ユーティリティ画面のSYSTEMタブでINPUT PAIR MODEの設定を変更した場合は、モノラル設定になります (インプットチャンネル(INPUT 1~24) のみ対象)。

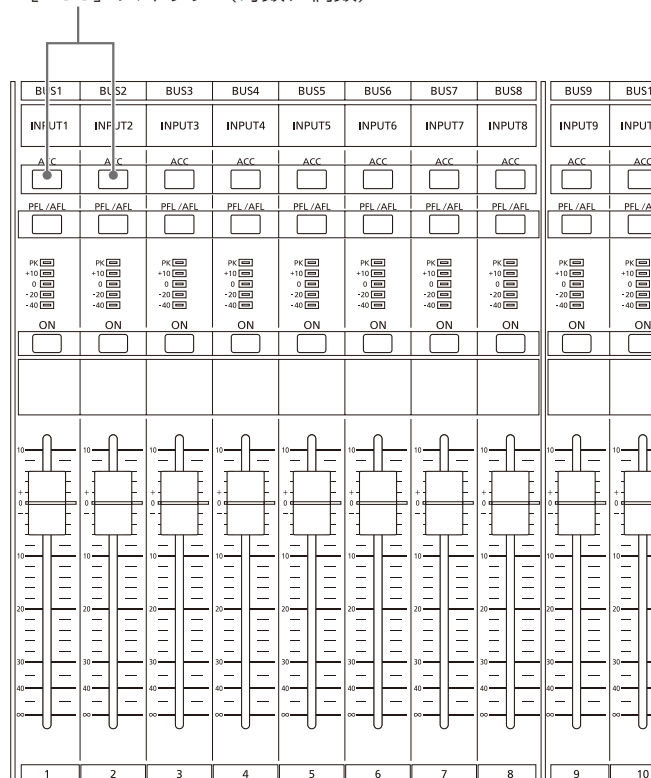
モノラルとフェーダーリンクの切替設定

INPUTチャンネル(INPUT 1~24)で、奇数偶数で連続するチャンネルのアクセススイッチを押すと、モノラル/フェーダーリンク設定を切り替えることができます。

フェーダーリンク設定に切り替えるには、ユーティリティ画面のSYSTEMタブでINPUT PAIR MODEの設定をFADER LINKに変更が必要です。

フェーダーリンク設定時は、フェーダーレベルとチャンネルON/OFFスイッチのパラメータのみが連動します。

[ACC] スイッチ (奇数、偶数)



チャンネルフェーダーモジュール

7. 2つのアクセススイッチを同時に1秒押します。

モノラルからステレオに切り替える際は、最初に押したチャンネルの設定が、後に押したチャンネル側にコピーされます。フェーダーレベルとチャンネルON/OFFスイッチのパラメータが連動します。

- フェーダーリンク設定時に再度同時に押すと、モノラル設定に戻ります。



- ユーティリティ画面のSYSTEMタブでINPUT PAIR MODEがFADER LINKに設定されていないときは、パラメータが連動しません (インプットチャンネル(INPUT 1~24) のみ対象)。
- ユーティリティ画面のSYSTEMタブでINPUT PAIR MODEの設定を変更した場合は、モノラル設定になります (インプットチャンネル(INPUT 1~24) のみ対象)。

仕様

設定一覧

■ インプット（モノラルインプット、ステレオインプット、リバーブリターン）

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
ファンタム電源	インプット1~24*1	OFF	OFF、ON	8
インプットゲイン	インプット1~24*1	+4 dBu	+4 dBu~-60 dBu	8
インサージョン	全チャンネル*2	OFF	OFF、ON	8
ディレイ	全チャンネル*9	ON/OFFスイッチ：OFF DELAY TIME：0.000 ms	OFF、ON 0 ms~600 ms、0 m~204 m	11
デジタルゲイン	全チャンネル*3	0 dB	-24.0 dB~+24.0 dB	8
フェイズ	全チャンネル*3	NORMAL	NORMAL、INVERT	8
HPF	全チャンネル	ON/OFFスイッチ：OFF FREQ：80 Hz	OFF、ON 20 Hz~1800 Hz	8
ダイナミクス （ノイズゲート）	全チャンネル	ON/OFFスイッチ：OFF TH LEVEL：OFF ATTACK：1 ms RELEASE：450 ms	OFF、ON OFF、-90 dBu~-40 dBu 0 ms~250 ms 5 ms~2000 ms	9
ダイナミクス （コンプレッサー）	全チャンネル	ON/OFFスイッチ：OFF DEPTH：N（ニュートラル） TH LEVEL：-2 dB RATIO：4.17:1 ATTACK：100 ms RELEASE：1000 ms GAIN：3 dB	OFF、ON N、S1~S10、H1~H10 -36 dBu~+24 dBu 1：1~inf：1 0 ms~250 ms 5 ms~2000 ms 0.0 dB~12.0 dB	9
イコライザー （PEQ）	全チャンネル	ON/OFFスイッチ：ON HIGH：Q：3.0 FREQ：4.00 kHz GAIN：0 dB HIGH MID：Q：3.0 FREQ：1.25 kHz GAIN：0 dB LOW MID：Q：3.0 FREQ：315 Hz GAIN：0 dB LOW：Q：3.0 FREQ：125 Hz GAIN：0 dB	OFF、ON SHH、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB SHL、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB	10
ダイナミックノッチ	インプット1~24	ON/OFFスイッチ：OFF RESP：FAST*4 SENS：HIGH*4	OFF、ON SLOW、FAST LOW、MID、HIGH	11
ONスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	取扱説明書 基本操作編
フェーダーレベル	全チャンネル	inf	+10 dB~-90.0 dB、inf	7
PAN*5、BAL*6	全チャンネル	C（センター）	L16~C~R16	8
バスセンド	全チャンネル	メインLR：OFF バス1~14：ON/OFFスイッチ： OFF	OFF、ON OFF、ON	7
バスセンドレベル		0 dB	+10 dB~-90.0 dB、inf	7
バスセンドPRE/ POST*7		POST	PRE、POST	26、59
バスセンドPAN/ BAL*8		C（センター）	L16~C~R16	8

仕様

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
モノラル/ステレオ設定	インプット1~24 インプット25~32	モノラル ステレオ	MONO、ST MONO、ST	41
PFLスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	取扱説明書 基本操作編
MANUALスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	8

- ※1 WR-PC001で、インサージョンリターン用で使用時は対象外
- ※2 WR-PC001で、インサージョンリターン用に使用時のみ対象
- ※3 リバーブ1が有効の場合インプット29、30、リバーブ2が有効の場合インプット31、32は使用不可
- ※4 対象チャンネル共通設定
- ※5 モノラルインプット設定時
- ※6 ステレオインプット設定時
- ※7 バスチャンネル毎に全チャンネル共通設定
- ※8 ステレオバス設定時
- ※9 ユーティリティ画面で設定されている場合使用可

仕様

■ バス（メインLR、バス）

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
イコライザー (PEQ)	全チャンネル	ON/OFFスイッチ：ON HIGH : Q : 3.0 FREQ : 4.00 kHz GAIN : 0 dB HIGH MID : Q : 3.0 FREQ : 1.25 kHz GAIN : 0 dB LOW MID : Q : 3.0 FREQ : 315 Hz GAIN : 0 dB LOW : Q : 3.0 FREQ : 125 Hz GAIN : 0 dB	OFF、ON SHH、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB SHL、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB	10
ダイナミクス (コンプレッサー)	全チャンネル	ON/OFFスイッチ：OFF DEPTH : N (ニュートラル) TH LEVEL : -2 dB RATIO : 4.17:1 ATTACK : 100 ms RELEASE : 100 ms GAIN : 1 dB	OFF、ON N、S1~S10、H1~H10 -36 dBu~+24 dBu 1 : 1~inf : 1 0 ms~250 ms 5 ms~2000 ms 0.0 dB~12.0 dB	9
ONスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	取扱説明書 基本操作編
フェーダーレベル	全チャンネル	inf	+10 dB~-90.0 dB、inf	7
BAL	メインLR	C (センター)	L16~C~R16	8
PAN	バス1~14	C (センター)	L16~C~R16	8
メインLRアサイン	バス1~14	OFF	OFF、ON	7
リバーブ*1	バス13、14	ENABLE/DISABLE : ENABLE (有効) TYPE : OFF	ENABLE、DISABLE OFF、ECHO1、ECHO2、 HALL、ROOM、PLATE	11
モノラル/ステレオバス設定	バス1~14	モノラル	MONO、ST	41
AFLスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	取扱説明書 基本操作編
MANUALスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	8

※1 リバーブ1が有効の場合バス13、リバーブ2が有効の場合バス14で使用可

仕様

■ マトリクス

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
ディレイ	全チャンネル ^{※1}	ON/OFFスイッチ：OFF DELAY TIME：0.000 ms	OFF、ON 0 ms~600 ms、0 m~204 m	11
イコライザー (PEQ)	全チャンネル ^{※2}	ON/OFFスイッチ：ON PEQ1：Q：3.0 FREQ：63 Hz GAIN：0 dB PEQ2：Q：3.0 FREQ：250 Hz GAIN：0 dB PEQ3：Q：3.0 FREQ：630 Hz GAIN：0 dB PEQ4：Q：3.0 FREQ：2.50 kHz GAIN：0 dB PEQ5：TYPE：3.0 FREQ：125 Hz GAIN：0 dB PEQ6：Q：3.0 FREQ：500 Hz GAIN：0 dB PEQ7：Q：3.0 FREQ：2.00 kHz GAIN：0 dB PEQ8：Q：3.0 FREQ：8.00 kHz GAIN：0 dB	OFF、ON SHL、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB SHH、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB	10
イコライザー (GEQ)	マトリクス13~16 ^{※2}	ON/OFFスイッチ：OFF GEQ1~32：FREQ 31ポイント GAIN：0 dB OUTPUT：GAIN：0 dB	OFF、ON -15 dB~+15 dB -15 dB~+15 dB	10
ダイナミクス (コンプレッサー)	全チャンネル	ON/OFFスイッチ：OFF DEPTH：N (ニュートラル) TH LEVEL：-2 dB RATIO：4.17：1 ATTACK：100 ms RELEASE：100 ms GAIN：1 dB	OFF、ON N、S1~S10、H1~H10 -36 dBu~+24 dBu 1：1~inf：1 0 ms~250 ms 5 ms~2000 ms 0.0 dB~12.0 dB	9
ONスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	取扱説明書 基本操作編
フェーダーレベル	全チャンネル	inf	+10 dB~-90.0 dB、inf	7
マトリクスミキシング	メインLR、 バス1~14、 アナウンスマイク、 エアマイクLR、 トークバック/ オシレーター	ON/OFFスイッチ：OFF レベル：0 dB	OFF、ON +10 dB~-90.0 dB、inf	8
AFLスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	取扱説明書 基本操作編
MANUALスイッチ	全チャンネル	OFF	OFF、ON	8

※1 ユーティリティ画面で設定されている場合使用可

※2 マトリクス13~16は、8バンドPEQ、31バンドGEQを切り替え可能。(28ページ)

仕様

■ トークバック／オシレーター

項目	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
インプットゲイン	+4 dBu	+4 dBu～-60 dBu	8
デジタルゲイン	0 dB	-24.0 dB～+24.0 dB	8
フェイズ	NORMAL	NORMAL、INVERT	8
HPF	ON/OFFスイッチ：OFF FREQ：80 Hz	OFF、ON 20 Hz～1800 Hz	8
ダイナミクス (ノイズゲート)	ON/OFFスイッチ：OFF TH LEVEL：OFF ATTACK：1 ms RELEASE：450 ms	OFF、ON OFF、-90 dBu～-40 dBu 0 ms～250 ms 5 ms～2000 ms	9
ダイナミクス (コンプレッサー)	ON/OFFスイッチ：OFF DEPTH：N (ニュートラル) TH LEVEL：-2 dB RATIO：4.17：1 ATTACK：100 ms RELEASE：1000 ms GAIN：3 dB	OFF、ON N、S1～S10、H1～H10 -36 dBu～+24 dBu 1：1～inf：1 0 ms～250 ms 5 ms～2000 ms 0.0 dB～12.0 dB	9
イコライザー (PEQ)	ON/OFFスイッチ：ON HIGH：Q：3.0 FREQ：4.00 kHz GAIN：0 dB HIGH MID：Q：3.0 FREQ：1.25 kHz GAIN：0 dB LOW MID：Q：3.0 FREQ：315 Hz GAIN：0 dB LOW：Q：3.0 FREQ：125 Hz GAIN：0 dB	OFF、ON SHH、0.3～30 20 Hz～20000 Hz -15 dB～+15 dB 0.3～30 20 Hz～20000 Hz -15 dB～+15 dB 0.3～30 20 Hz～20000 Hz -15 dB～+15 dB SHL、0.3～30 20 Hz～20000 Hz -15 dB～+15 dB	10
ONスイッチ	OFF	OFF、ON	取扱説明書 基本操作編
トークバックレベル	-10 dB	+10 dB～-90.0 dB、inf	12
オシレーター	OSC SOURCE：OFF	OFF、ON	12
オシレーターレベル	-10 dB	+10 dB～-90.0 dB、inf	12
PAN	C (センター)	L16～C～R16	8
バスセンド	メインLR：OFF バス1～14：ON/OFFスイッチ：OFF	OFF、ON OFF、ON	7
バスセンドレベル	0 dB		7
マトリクスセンド	ON/OFFスイッチ：ON	OFF、ON	12

仕様

■ アナウンスマイク

項目	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
ファンタム電源	OFF	OFF、ON	8
インプットゲイン	+4 dBu	+4 dBu~-60 dBu	8
デジタルゲイン	0 dB	-24.0 dB~+24.0 dB	8
フェイズ	NORMAL	NORMAL、INVERT	8
HPF	ON/OFFスイッチ：OFF FREQ：80 Hz	OFF、ON 20 Hz~1800 Hz	8
ダイナミクス (ノイズゲート)	ON/OFFスイッチ：OFF TH LEVEL：OFF ATTACK：1 ms RELEASE：450 ms	OFF、ON OFF、-90 dBu~-40 dBu 0 ms~250 ms 5 ms~2000 ms	9
ダイナミクス (コンプレッサー)	ON/OFFスイッチ：OFF DEPTH：N (ニュートラル) TH LEVEL：-2 dB RATIO：4.17：1 ATTACK：100 ms RELEASE：1000 ms GAIN：3 dB	OFF、ON N、S1~S10、H1~H10 -36 dBu~+24 dBu 1：1~inf：1 0 ms~250 ms 5 ms~2000 ms 0.0 dB~12.0 dB	9
イコライザー (PEQ)	ON/OFFスイッチ：ON HIGH：Q：3.0 FREQ：4.00 kHz GAIN：0 dB HIGH MID：Q：3.0 FREQ：1.25 kHz GAIN：0 dB LOW MID：Q：3.0 FREQ：315 Hz GAIN：0 dB LOW：Q：3.0 FREQ：125 Hz GAIN：0 dB	OFF、ON SHH、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB SHL、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB	10
スタンバイスイッチ	OFF	OFF、ON	12
フェーダーレベル	inf	+10 dB~-90.0dB、inf	7
PFLスイッチ	OFF	OFF、ON	12

仕様

■ エアマイク

項目	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
ファンタム電源	OFF	OFF、ON	8
インプットゲイン	-6 dBu	-6 dBu~-70 dBu	8
デジタルゲイン	0 dB	-24.0 dB~+24.0 dB	8
フェイズ	NORMAL	NORMAL、INVERT	8
HPF	ON/OFFスイッチ：OFF FREQ：80 Hz	OFF、ON 20 Hz~1800 Hz	8
ダイナミクス (ノイズゲート)	ON/OFFスイッチ：OFF TH LEVEL：OFF ATTACK：1 ms RELEASE：450 ms	OFF、ON OFF、-90 dBu~-40 dBu 0 ms~250 ms 5 ms~2000 ms	9
ダイナミクス (コンプレッサー)	ON/OFFスイッチ：OFF DEPTH：N (ニュートラル) TH LEVEL：-2 dB RATIO：4.17：1 ATTACK：100 ms RELEASE：1000 ms GAIN：3 dB	OFF、ON N、S1~S10、H1~H10 -36 dBu~+24 dBu 1：1~inf：1 0 ms~250 ms 5 ms~2000 ms 0.0 dB~12.0 dB	9
イコライザー (PEQ)	ON/OFFスイッチ：ON HIGH：Q：3.0 FREQ：4.00 kHz GAIN：0 dB HIGH MID：Q：3.0 FREQ：1.25 kHz GAIN：0 dB LOW MID：Q：3.0 FREQ：315 Hz GAIN：0 dB LOW：Q：3.0 FREQ：125 Hz GAIN：0 dB	OFF、ON SHH、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB 0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB SHL、0.3~30 20 Hz~20000 Hz -15 dB~+15 dB	10
ONスイッチ	OFF	OFF、ON	12
フェーダーレベル	inf	+10 dB~-90.0 dB、inf	7

仕様

■ モニター

項目	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
SOURCE設定	OFF	OFF、ON	18
MONITOR MONO MIXスイッチ	OFF	OFF、ON	19
FADERレベル	-10 dB	+10 dB~-90.0 dB、inf	18
MONITOR METER POSITION	PRE	PRE、POST	
PFL/AFL MONO MIXスイッチ	OFF	OFF、ON	19
PFL/AFL SAFEスイッチ	OFF	OFF、ON	18
PFL/AFL MODE	MIX	MIX、SOLO	19
CLEARスイッチ	OFF	OFF、ON	取扱説明書 基本操作編
PFL/AFLレベル	0 dB	+10 dB~-90.0 dB、inf	18、19

■ その他

項目	対象チャンネル	工場出荷時設定値	設定範囲	設定を変更する際の参照ページ
ミュートグループ	1~8	登録状態：未登録 ON/OFFスイッチ：OFF	OFF、ON	24
フェーダーグループ	1~8	登録状態：未登録		25
パターンメモリー	1~96	インプット、メインLR、バス、マトリクスの工場出荷設定値		21
EQライブラリー	1~16	インプットの工場出荷設定値		22
DYNライブラリー	1~16	インプットの工場出荷設定値		23
レベルメーターPRE/POST	インプット1~32、メインLR、バス1~14、マトリクス1~16、アナウンスマイク、エアマイク、トークバック/オシレーター	PRE PRE PRE POST PRE PRE PRE	PRE、POST PRE、POST PRE、POST POST PRE、POST PRE、POST PRE、POST	18

付録1 ユーティリティ設定 (System)

System

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
01-01	AUDIO CLOCK	SOURCE SELECT	INT48K WCK IN SLOT1 SLOT2 SLOT3	INT48K	システムの基準となるクロック（ワードクロック）の供給元を設定します。 INT48K：本機内部のクロックを使用する。 WCK IN：WCK IN端子に入力されるクロック（48 kHz）を使用する。 SLOTn：拡張SLOTから入力されるクロックを使用する。 ※ この設定を切り替えると、全出力端子の信号が一瞬ミュートされますので十分注意してください。
01-02	LCD	AUTO DISP	DISABLE ENABLE	DISABLE	[ACC] スイッチ以外の操作で、本体、チャンネルコントロール部、画面に表示するチャンネルを変更するかどうかを設定します。 DISABLE：[ACC] スイッチ操作のみで画面、本体、チャンネルコントロール部に表示するチャンネルを選択します。 ENABLE：フェーダー操作、CHスイッチ操作、PFL/AFLスイッチ操作によっても、画面、本体、チャンネルコントロール部に表示するチャンネルを選択することができます。
01-03		AUTO HOME DISPLAY	OFF 3min 5min	OFF	しばらく本機の操作が行われなかった場合の画面自動制御の有無、および画面自動制御が行われるまでの時間を設定します。 OFF：画面自動制御は行われません。 3min：3分経過後にホーム画面を表示します。 5min：5分経過後にホーム画面を表示します。
01-04		HOME DISPLAY	SINGLE MULTI METER MONITOR	METER MONITOR	ホーム画面を設定します。 設定したホーム画面は、自動ホーム画面表示 しばらく本機の操作が行われなかった場合の画面自動制御で表示する画面の種類を設定します。 自動ホーム画面表示がOFFの場合は、この設定は無効になります。 SINGLE：「シングルチャンネル」画面に [ACC] スイッチで選択されているチャンネルの情報を表示します。 MULTI：「マルチチャンネル」画面に [ACC] スイッチで選択されているチャンネルを含む情報を表示します。[ACC] スイッチで TB/OSC、ANN、AIR、MAIN LRが選択されている場合は、本機能は動作しません。 METER MONITOR： 「メーター／モニター」画面を表示します。
01-05		DELAY UNIT	METER SECOND	SECOND	ディレイの遅延量表示の単位系を設定します。 METER：メートル単位 SECOND：秒（ミリ秒）単位 ※ 本機では、基本的な単位としてミリ秒 [ms] を使用し、他の単位への変換は以下の式により簡易的に行っています。 [メートル (m)] = 0.34 (m/ms) × [ミリ秒 (ms)]

付録1 ユーティリティー設定 (System)

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
01-06	ACC SWITCH	MONO/ST	DISABLE ENABLE	ENABLE	隣接 [ACC] スイッチの押下によるモノラルチャンネル、ステレオチャンネルの切り替え機能の有効/無効を設定します。
01-07		INPUT PAIR MODE	ST FADER LINK	ST	インプットチャンネル(INPUT 1~24)において、モノラルチャンネルからステレオチャンネルへの切り替え時に、連動するパラメータを設定します。 ST : トリム/ファンタム電源スイッチ/PHASE スイッチを除く、全パラメータが連動します。 FADER LINK : フェーダーレベルとチャンネルON/OFFスイッチのみが連動します。
01-08		PC LINK	DISABLE ENABLE	ENABLE	[ACC] チャンネルの設定が本体とリモコン機器 (PCソフト、iPadアプリ) で連動するか設定します。 ENABLE : 本体とリモコン機器のACCチャンネルが連動します。 任意の端末でACCチャンネルを変更すると、他の端末のACCチャンネルが連動します。 DISABLE : 本体とリモコン機器のACCチャンネルが連動しません。
01-09	MONITOR	MUTE LEVEL	-20dB -30dB -40dB -50dB -inf	-20dB	本体の [MUTE] スイッチ押下時、トークバックON時のモニター出力レベルの減衰量を設定します。
01-10	LEVEL METER	PEAK HOLD	OFF 2sec inf	2sec	画面内 [MONITOR] で、ピーク値を保持する時間を設定します。 OFF : ピークホールドしない。 2sec : 2秒間保持します。 inf : 電源をOFF/ONするか、本設定を変更するまで保持します。
02-01	MANUAL	SELECT	PTN, MUTE-G, FDR-G PTN ONLY	PTN, MUTE-G, FDR-G	[MANUAL] スイッチをONにしたときに制御対象外とする機能を選択します。 PTN, MUTE-G, FDR-G : パターンメモリーリード、MUTE GROUP、FADER GROUPを制御対象外とします。 PTN ONLY : パターンメモリーリードのみを制御対象外とします。

付録1 ユーティリティ設定 (System)

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
02-02	DIMMER	ON : PANEL DIMMER	1~8	3	DIMMER ON時の各部の輝度を設定します。 DIMMER ON : PANEL : コンソールの各LEDの輝度を設定します。 DIMMER ON : LCD : 画面の輝度 (バックライト強度) を設定します。 DIMMER ON : LIGHT : ライトの輝度を設定します。
02-03		ON : LCD DIMMER	1~8	3	
02-04		ON : LIGHT DIMMER	1~8	3	
02-05		OFF : PANEL DIMMER	1~8	6	
02-06		OFF : LCD DIMMER	1~8	6	
02-07		OFF : LIGHT DIMMER	1~8	6	
02-08		CONT IN,VCA	CONT IN 8	ANNOUNCE PATTERN CONT 8	
02-09	VCA 1		OFF INPUT 1~32 BUS 1~14 MAIN LR MATRIX 1~16	OFF	外部制御用端子のVCA1、VCA2でボリューム制御するチャンネルを設定します。
02-10	VCA 2		OFF INPUT 1~32 BUS 1~14 MAIN LR MATRIX 1~16	OFF	

付録1 ユーティリティー設定 (System)

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
03-01	LAYER	CUSTOM LAYER	DISABLE ENABLE	DISABLE	カスタムレイヤーを使用するかどうかを選択します。 DISABLE：カスタムレイヤーを使用しません。 ENABLE：カスタムレイヤーを使用します。
03-02		FADER 1	OFF INPUT 1~32 MIX 1~14 MATRIX 1~16 ANN AIR	OFF	カスタムレイヤーを選択したとき、各フェーダに表示するチャンネルを選択します。 チャンネルは1箇所のみ選択可能です。
03-03		FADER 2		OFF	
03-04		FADER 3		OFF	
03-05		FADER 4		OFF	
03-06		FADER 5		OFF	
03-07		FADER 6		OFF	
03-08		FADER 7		OFF	
03-09		FADER 8		OFF	
03-10		FADER 9		OFF	
04-01		FADER 10		OFF	
04-02		FADER 11		OFF	
04-03		FADER 12		OFF	
04-04		FADER 13		OFF	
04-05		FADER 14		OFF	
04-06		FADER 15		OFF	
04-07		FADER 16		OFF	
04-08		FADER 17		OFF	
04-09		FADER 18		OFF	
04-10		FADER 19		OFF	
05-01		FADER 20		OFF	
05-02		FADER 21		OFF	
05-03		FADER 22		OFF	
05-04		FADER 23		OFF	
05-05		FADER 24		OFF	
05-06		FADER 25		OFF	
05-07		FADER 26		OFF	
05-08		FADER 27		OFF	
05-09		FADER 28		OFF	
05-10		FADER 29		OFF	
06-01		FADER 30		OFF	
06-02		FADER 31		OFF	
06-03	FADER 32	OFF			
07-01	DELAY	DELAY 1	OFF, INPUT 1~32 MATRIX 1~16	MATRIX 1	各ディレイを使用するチャンネルを選択します。 チャンネルは1箇所のみ選択可能です。
07-02		DELAY 2		MATRIX 2	
07-03		DELAY 3		MATRIX 3	
07-04		DELAY 4		MATRIX 4	
07-05		DELAY 5		MATRIX 5	
07-06		DELAY 6		MATRIX 6	
07-07		DELAY 7		MATRIX 7	
07-08		DELAY 8		MATRIX 8	
07-09		DELAY 9		MATRIX 9	
07-10		DELAY 10		MATRIX 10	
08-01		DELAY 11		MATRIX 11	
08-02		DELAY 12		MATRIX 12	
08-03		DELAY 13		MATRIX 13	
08-04		DELAY 14		MATRIX 14	
08-05		DELAY 15		MATRIX 15	
08-06		DELAY 16		MATRIX 16	

付録1 ユーティリティ設定 (System)

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
09-01	ADMIN	USER CHANGE	UTILITY + CH 1 ACC, : UTILITY + CH 32 ACC, UTILITY + MAIN ACC	UTILITY + CH32 ACC	<p>ユーザーレベルを変更するための操作を設定します。 [UTILITY] スイッチ、フェーダーブロック/MAIN L・Rブロックの [ACC] スイッチの同時押しの組み合わせ操作で、ユーザーレベルを切り替えます。</p> <p>現在のユーザーレベルがADMINISTRATORの場合は、OPERATOR、ENGINEER、ADMINISTRATORの設定を確認・変更することができます。</p> <p>現在のユーザーレベルがENGINEERの場合かつ初期設定では、OPERATOR、ENGINEERの設定を確認・変更することができます。</p> <p>現在のユーザーレベルがOPERATORの場合かつ初期設定では、設定の確認も行えません。</p> <p>OFF設定時は、該当ユーザーレベルへの切り替えを無効にします。</p> <p>他のユーザーレベルで選択済みの組み合わせは選択できません。</p>

付録1 ユーティリティー設定 (System)

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
09-02	ENGINEER	USER CHANGE	OFF UTILITY + CH 1 ACC, : UTILITY + CH 32 ACC, UTILITY + MAIN ACC	OFF	ADMIN参照
09-03		FADER & MONTOR PANEL	DISABLE ENABLE	ENABLE	<p>ユーザーレベルがOPERATOR、ENGINEERの場合に操作を許可する範囲を設定します。 現在のユーザーレベルがADMINISTRATORの場合は、OPERATOR、ENGINEERの設定を変更することができます。</p> <p>現在のユーザーレベルがENGINEERの場合は、OPERATORの設定を変更することができます。</p> <p>FADER & MONITOR PANEL : 本体チャンネルフェーダーモジュール、 本体フェーダーレイヤー操作部、 本体モニターセクション、 画面での内容確認</p> <p>CONTROL PANEL : 本体チャンネルフェーダーモジュール、 「シングルチャンネル」画面、 「マルチチャンネル」画面、 「メーター/モニター」画面、 「ユーティリティー」画面 - ユーティリティ機能部 - EQライブラリータブ、 「ユーティリティー」画面 - ユーティリティ機能部 - DYNライブラリータブ ※ FADER & MONITOR PANELが DISABLEの場合、本項目をENABLEにすることはできません。</p> <p>PATTERN MEMORY : 外部制御用端子 CONT-IN、 「ユーティリティー」画面 - ユーティリティ機能部 - パターンメモリータブ</p> <p>MUTE-G & FADER -G : 「ユーティリティー」画面 - ユーティリティ機能部 - MUTE GROUPタブ 「ユーティリティー」画面 - ユーティリティ機能部 - FADER GROUPタブ</p> <p>SETUP : 「ユーティリティー」画面 - ユーティリティ機能部 - システム設定/オプション設定部</p> <p>REMOTE CONTROL : PCソフト、iPadアプリからの制御 ※ 本体ディスプレイコントロール部は常に使用可能です。</p>
09-04		CONTROL PANEL	DISABLE ENABLE	ENABLE	
09-05		PATTERN MEMORY	DISABLE ENABLE	ENABLE	
09-06		MUTE-G & FADER -G	DISABLE ENABLE	ENABLE	
09-07		SETUP	DISABLE ENABLE	DISABLE	
09-08		REMOTE CONTROL	DISABLE ENABLE	ENABLE	

付録1 ユーティリティ設定 (System)

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
10-01	OPERATOR	USER CHANGE	OFF UTILITY + CH 1 ACC, : UTILITY + CH 32 ACC, UTILITY + MAIN ACC	OFF	ADMIN参照
10-02		FADER & MONTOR PANEL	DISABLE ENABLE	ENABLE	ENGINEER参照
10-03		CONTROL PANEL	DISABLE ENABLE	ENABLE	
10-04		PATTERN MEMORY	DISABLE ENABLE	DISABLE	
10-05		MUTE-G & FADER -G	DISABLE ENABLE	DISABLE	
10-06		SETUP	DISABLE ENABLE	DISABLE	
10-07		REMOTE CONTROL	DISABLE ENABLE	ENABLE	
11-01	NETWORK	REMOTE CONTROL MONITOR ONLY	DISABLE CONTROL MONITOR ONLY	CONTROL	PCソフト、iPadアプリからの制御 DISABLE : PCソフト、iPadアプリからの制御を禁止します。 CONTROL : PCソフト、iPadアプリからの制御を許可します。 MONITOR ONLY: PCソフト、iPadアプリからの閲覧のみを許可します。
11-02		MAC ADDRESS *表示のみ	**_**_**_**_**_**	**_**_**_**_** **_**	ミキサーのMACアドレスを表示します。
11-03		IP ADDRESS *表示のみ	192.168.1.10	192.168.1.10	ミキサーのIPアドレスを表示します。 ※ IPアドレスの設定は、PCソフト、iPadアプリから行います。
11-04		SUBNET MASK *表示のみ	255.255.255.0	255.255.255.0	ミキサーのサブネットマスクを表示します。 ※ サブネットマスクの設定は、PCソフト、iPadアプリから行います。
11-05		LINE SPEED *表示のみ	AUTO 100MF 100MH	AUTO	ミキサーの通信速度の設定を表示します。 ※ 通信速度の設定は、PCソフト、iPadアプリから行います。
11-06		SOFTWARE *表示のみ	VERSION	V**. **	ソフトウェアバージョンを表示します。
11-07		FACTORY RESET	SELECT	DO NOT EXECUTE, EXECUTE	DO NOT EXECUTE

付録2 ユーティリティー設定 (IO)

IO

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
01-01	OUTPUT 1-16	SOURCE SELECT	MATRIX OUT BUS OUT	MATRIX OUT	REAR I/O OUTPUT端子から出力する信号を選択します。 MATRIX OUT : OUTPUT1~16にMATRIX1~16を出力します。 BUS OUT : OUTPUT1~14にBUS1~14、OUTPUT15にMAIN L、OUTPUT16にMAIN Rを出力します。
01-02	SLOT1	INPUT 1~16 (Danteカード挿入時)	INPUT 25~32 INPUT 1~16 INS RETURN INPUT 17~32 INS RETURN BUS1~14, MAIN LR SUBIN NO ASSIGN	NO ASSIGN	拡張SLOTカードの16ch分の入力信号の用途を設定します。 INPUT 25~32 : INPUT 25~32chの入力信号用に使用します。 INPUT 1~16 INS RETURN : INPUT 1~16chのインサージョンリターン用に使用します。 INPUT 17~32 INS RETURN : INPUT 17~32chのインサージョンリターン用に使用します。 BUS 1~14, MAIN LR SUBIN : BUS 1~14ch, MAIN LRのサブイン用に使用します。 NO ASSIGN : 入力信号を使用しません。 ※ 同一の機能を複数の拡張SLOTカードで選択することはできません。 同一機能が重複選択されている場合は、ENTERスイッチがグレースアウトタッチできません。
01-03		OUTPUT 1~16 (Danteカード挿入時)	BUS OUT MATRIX OUT INPUT 1~16 INS SEND INPUT 17~32 INS SEND NO ASSIGN	NO ASSIGN	拡張SLOTカードの16ch分の出力信号の用途を設定します。 BUS OUT : BUS 1~14, MAIN L・R, chの出力用に使用します。 MATRIX OUT : MATRIX 1~16chの出力用に使用します。 INPUT 1~16 INS SEND : INPUT 1~16chのインサージョンセンド用に使用します。 INPUT 17~32 INS SEND : INPUT 17~32chのインサージョンセンド用に使用します。 NO ASSIGN : 出力信号を使用しません。 ※ 同一の機能を複数の拡張SLOTカードで選択することはできません。 同一機能が重複選択されている場合は、ENTERスイッチがグレースアウトタッチできません。
01-02 01-03		--- (カード未挿入時)	---	---	
01-04 01-05	SLOT2	SLOT1 参照			

付録2 ユーティリティ設定 (IO)

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
01-06 01-07	SLOT3	INPUT 1~16 (Danteカード挿入時)	INPUT 25~32 INPUT 1~16 INS RETURN INPUT 17~32 INS RETURN BUS 1~14, MAIN LR SUBIN NO ASSIGN	NO ASSIGN	<p>拡張SLOTカードの16ch分の入力信号の用途を設定します。</p> <p>INPUT 25~32 : INPUT 25~32chの入力信号用に使用します。</p> <p>INPUT 1~16 INS RETURN : INPUT 1~16chのインサージョンリターン用に使用します。</p> <p>INPUT 17~32 INS RETURN : INPUT 17~32chのインサージョンリターン用に使用します。</p> <p>BUS 1~14, MAIN LR SUBIN : BUS 1~14ch、MAIN LRのサブイン用に使用します。</p> <p>NO ASSIGN : 入力信号を使用しません。</p> <p>※ 同一の機能を複数の拡張SLOTカードで選択することはできません。 同一機能が重複選択されている場合は、ENTERスイッチがグレースアウトしタッチできません。</p>
		OUTPUT 1~16 (Danteカード挿入時)	BUS OUT MATRIX OUT INPUT 1~16 INS SEND INPUT 17~32 INS SEND NO ASSIGN	NO ASSIGN	<p>拡張SLOTカードの16ch分の出力信号の用途を設定します。</p> <p>BUS OUT : BUS 1~14、MAIN L・R、chの出力用に使用します。</p> <p>MATRIX OUT : MATRIX 1~16chの出力用に使用します。</p> <p>INPUT 1~16 INS SEND : INPUT 1~16chのインサージョンセンド用に使用します。</p> <p>INPUT 17~32 INS SEND : INPUT 17~32chのインサージョンセンド用に使用します。</p> <p>NO ASSIGN : 出力信号を使用しません。</p> <p>※ 同一の機能を複数の拡張SLOTカードで選択することはできません。 同一機能が重複選択されている場合は、ENTERスイッチがグレースアウトしタッチできません。</p>
		INPUT 1~8 (8chライン入力カード挿入時)	INPUT 25~32 /EXTIN	INPUT 25~32 /EXTIN	<p>拡張SLOTカードの8ch分の入力信号の用途を設定します。</p> <p>INPUT 25~32/EXTIN : INPUT 25~32chの入力信号用に使用します。後半4chは、MONITORのEXT In1 L,R、EXT In2 L,Rにもパラ入力されます。</p> <p>※ 同一の機能を複数の拡張SLOTカードで選択することはできません。 同一機能が重複選択されている場合は、ENTERスイッチがグレースアウトしタッチできません。</p>

付録3 ユーティリティ設定 (Audio)

Audio

No.	FUNCTION	PARAMETER	DATA	初期値	機能
01-01	BUS ASSIGN	BUS1 PRE/ POST	PRE, POST	POST	INPUTからBUSへのアサインの信号送出位置を設定します。 PRE : プリフェーダー信号を送出します。 POST : ポストフェーダー信号を送出します。 ST設定のMIXは設定が連動します。
01-02		BUS2 PRE/ POST	PRE, POST	POST	
01-03		BUS3 PRE/ POST	PRE, POST	POST	
01-04		BUS4 PRE/ POST	PRE, POST	POST	
01-05		BUS5 PRE/ POST	PRE, POST	POST	
01-06		BUS6 PRE/ POST	PRE, POST	POST	
01-07		BUS7 PRE/ POST	PRE, POST	POST	
01-08		BUS8 PRE/ POST	PRE, POST	POST	
01-09		BUS9 PRE/ POST	PRE, POST	POST	
01-10		BUS10 PRE/POST	PRE, POST	POST	
02-01		BUS11 PRE/POST	PRE, POST	POST	
02-02		BUS12 PRE/POST	PRE, POST	POST	
02-03		BUS13 PRE/POST	PRE, POST	POST	
02-04		BUS14 PRE/POST	PRE, POST	POST	
02-05	REVERB	REVERB 1	DISABLE ENABLE	ENABLE	リバーブ機能の有効、無効を設定します。
02-06		REVERB 2	DISABLE ENABLE	ENABLE	
02-07	D-NOTCH	RESPONSE	SLOW, FAST	FAST	ダイナミックノッチ機能を設定します。
02-08		SENSE	LOW, MID, HIGH	HIGH	
03-01 03-02 03-03 03-04	PEQ/ GEQ	MATRIX13~16	PEQ, GEQ	PEQ	PEQ/GEQ切替設定します。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号